

3 See gap and relation (児童・生徒調査と教員調査より)

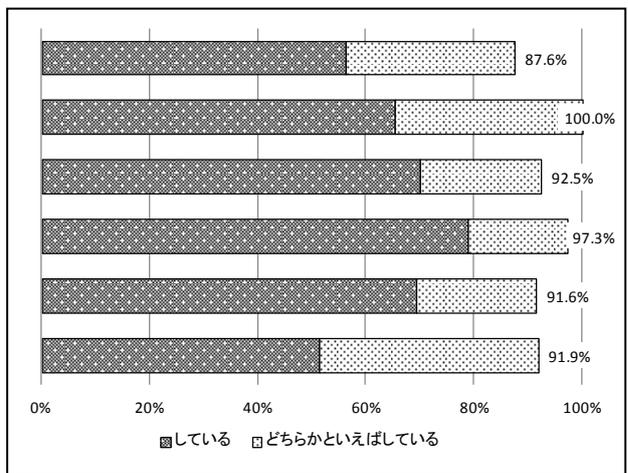
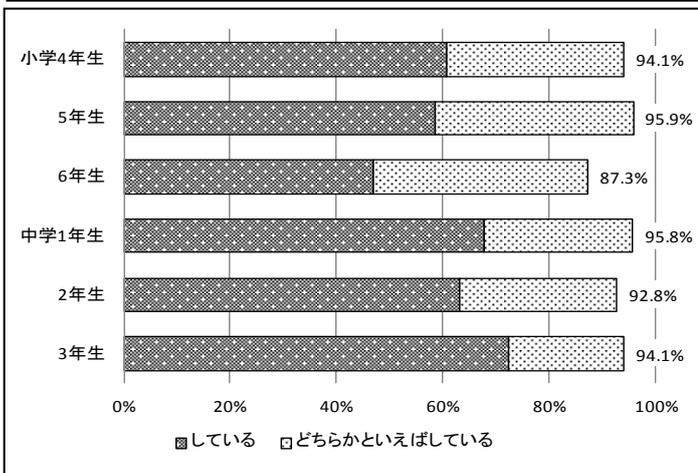
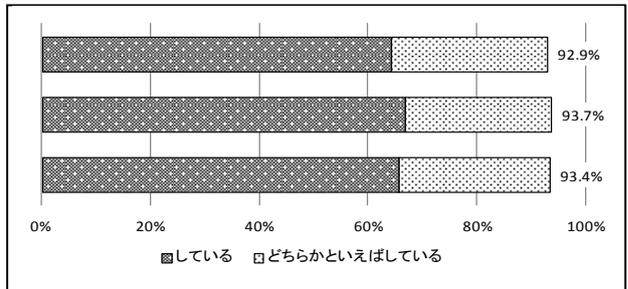
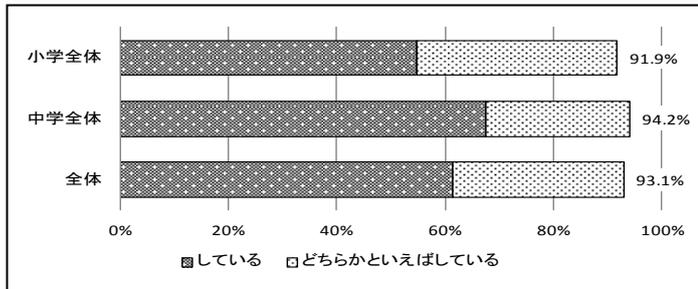
※対象の児童・生徒とその担当学年の教員を並べて表示している。

(1) ①【学習形態(児童・生徒)】、①【学習形態(教員)】

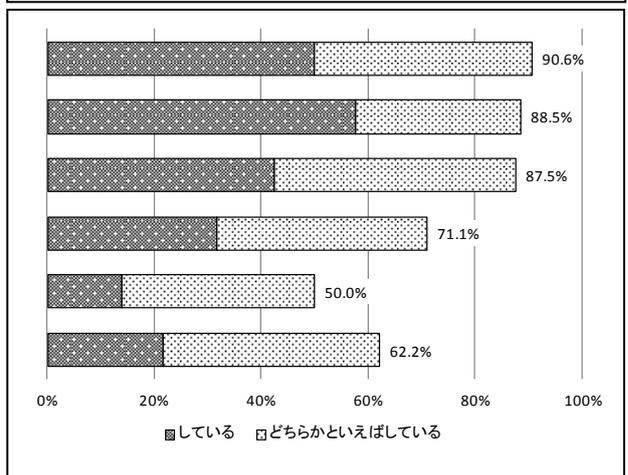
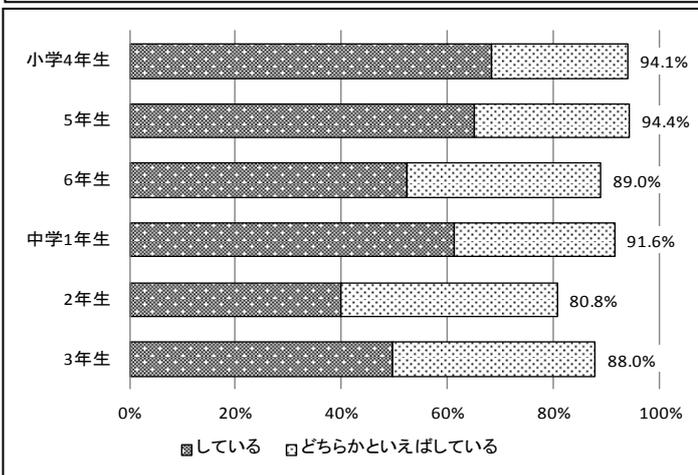
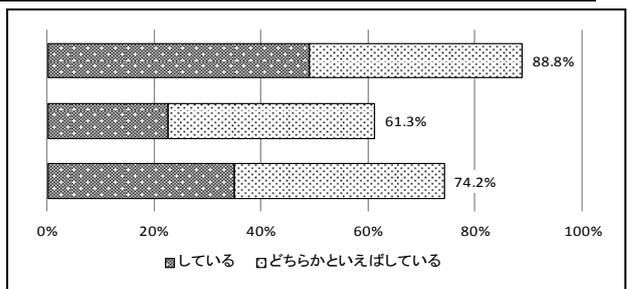
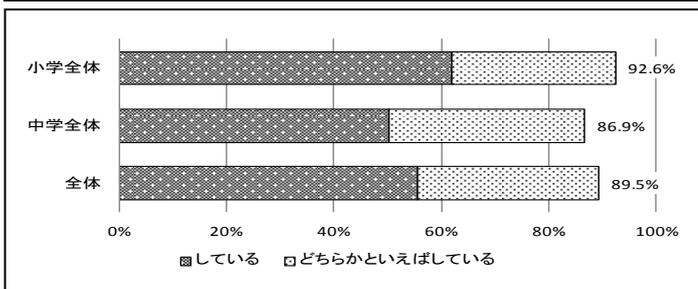
①あなたがこれまでに受けた授業では、次のことをどれくらいしていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。【学習形態(児童・生徒)】

①授業では、児童生徒に次のことをどれくらいさせていましたか。【学習形態(教員)】

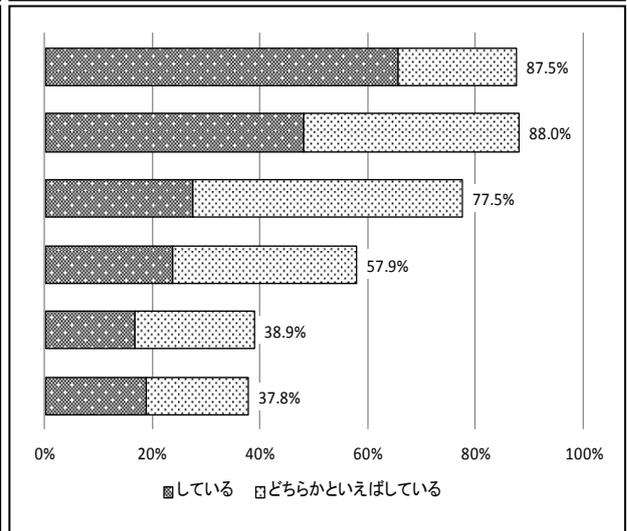
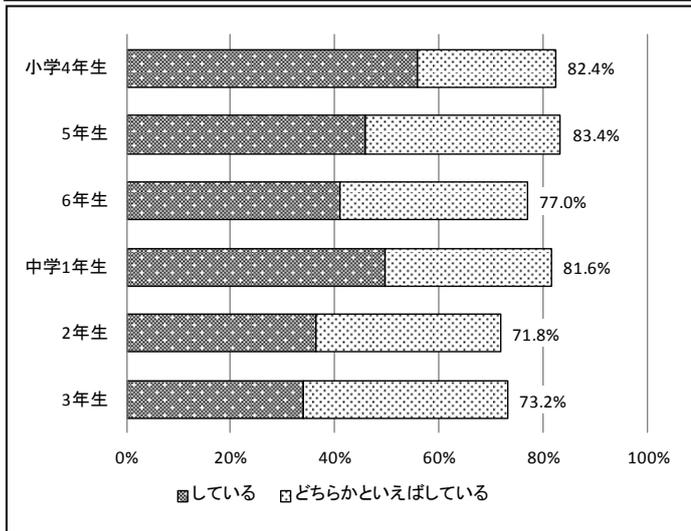
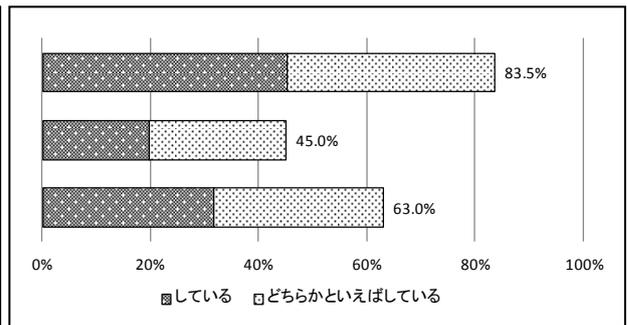
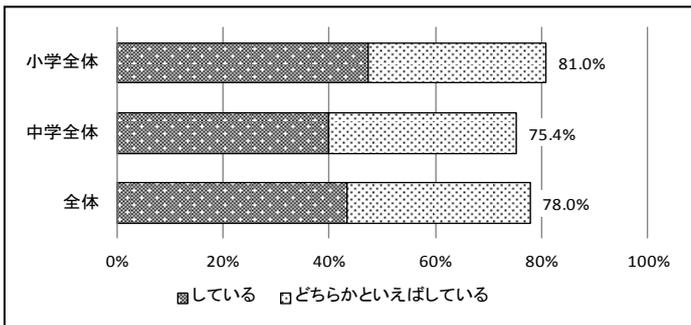
問1&問1 みんなで先生の説明を聞く学習。C1&T1【講義形式の学習】



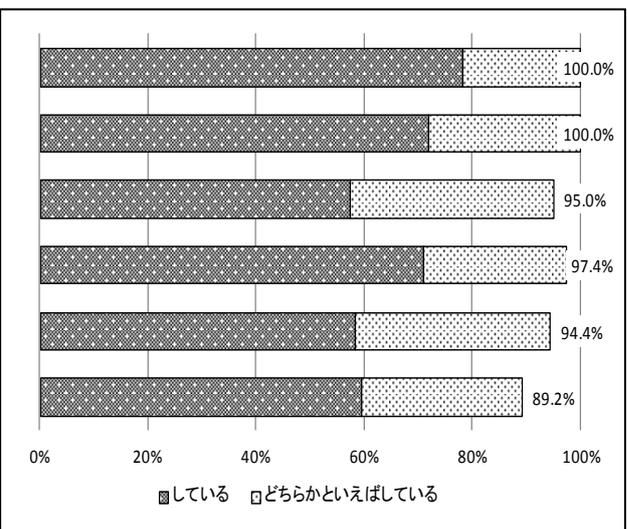
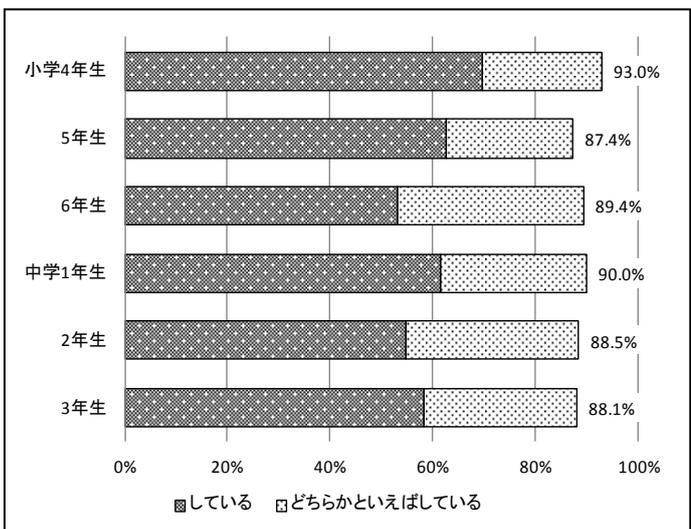
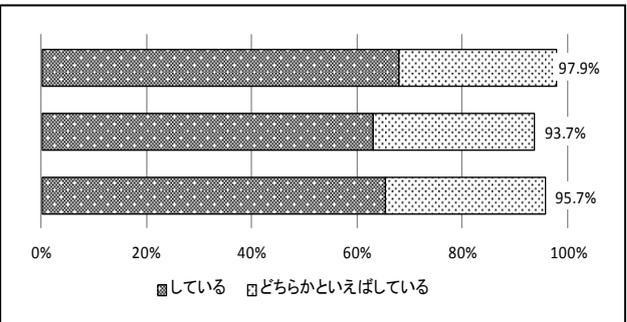
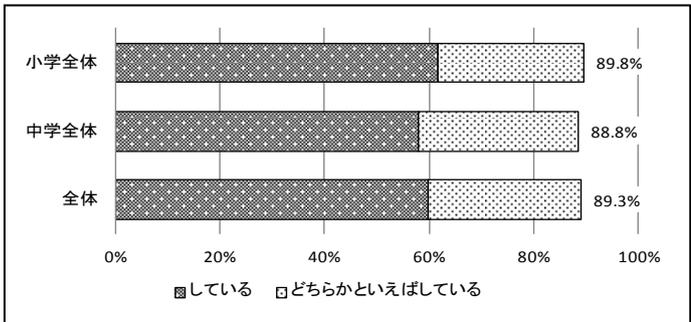
問2&問2 グループ学習。C2&T2【グループ学習】



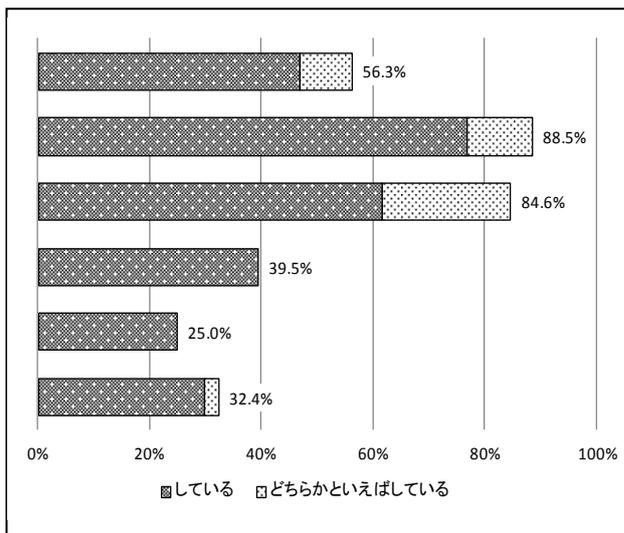
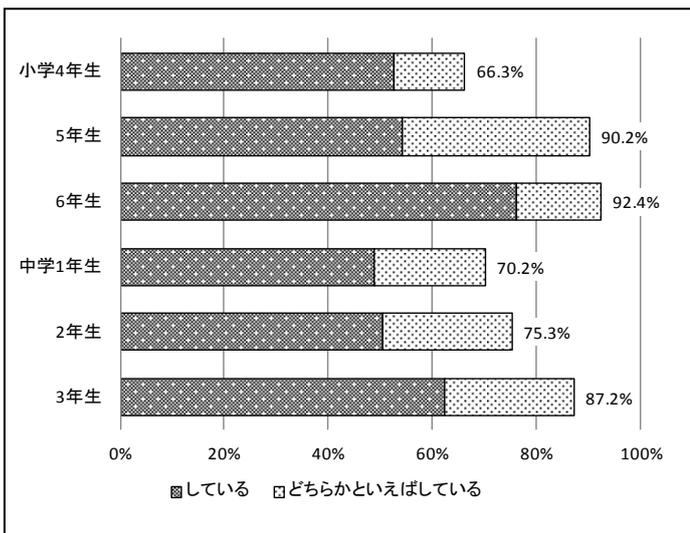
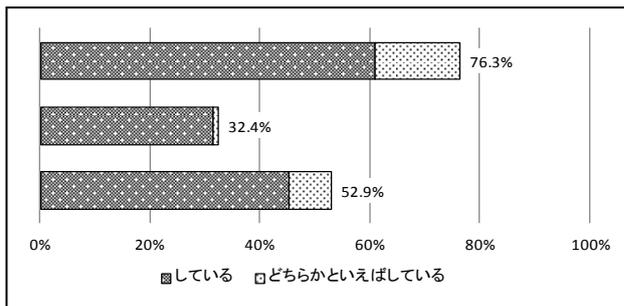
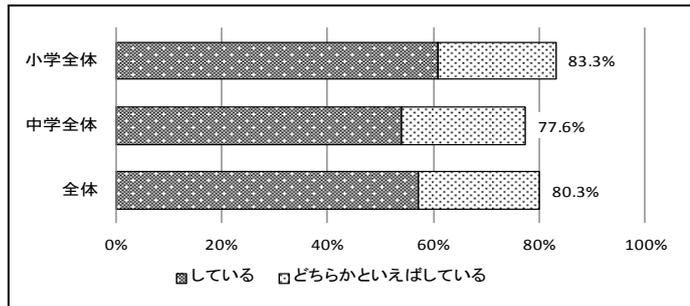
問3&問3 ペア学習。C3&T3【ペア学習】



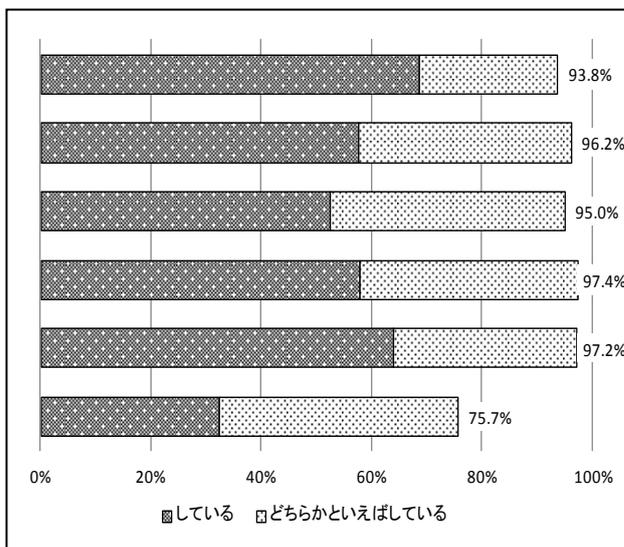
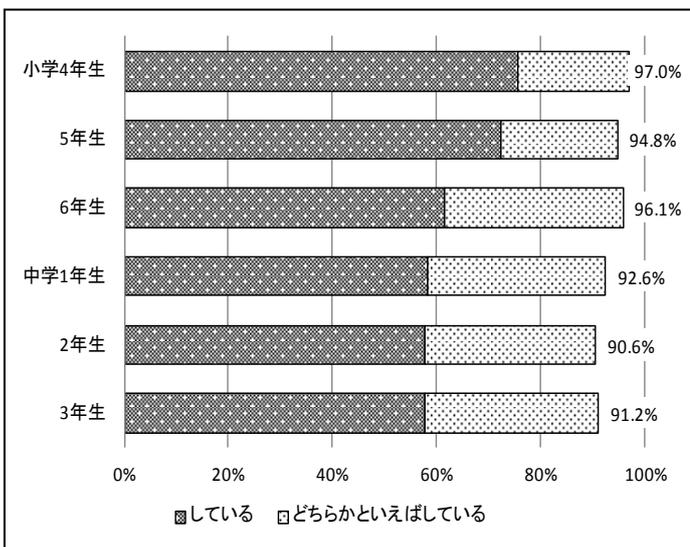
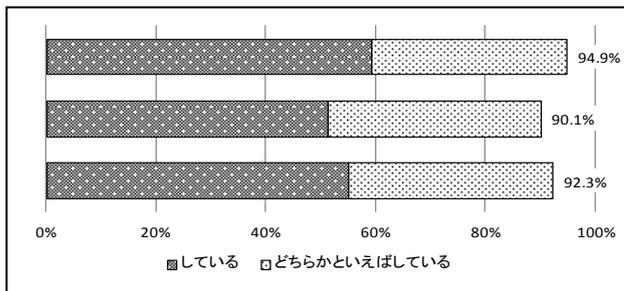
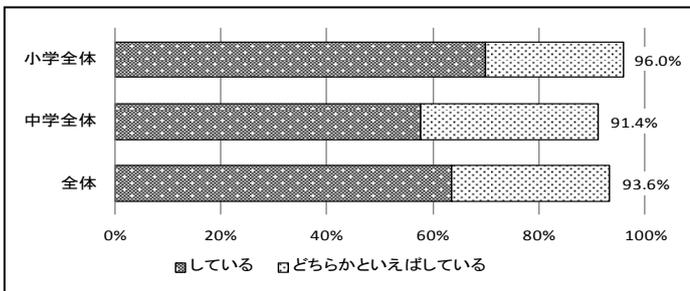
問4&問4 一人で考える学習。C4&T4【自己思考学習】



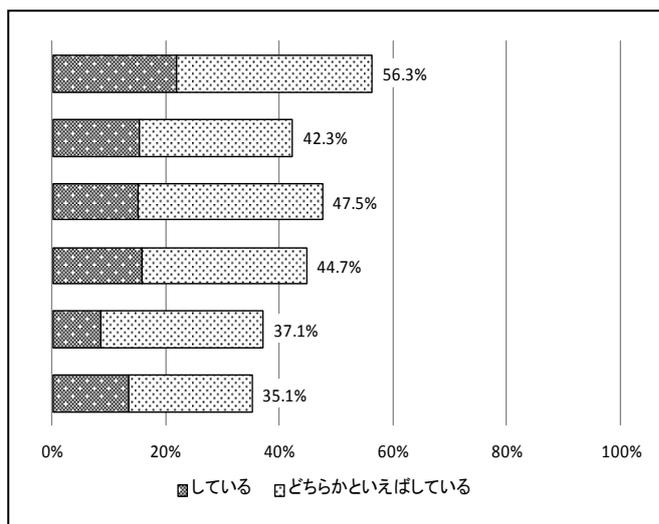
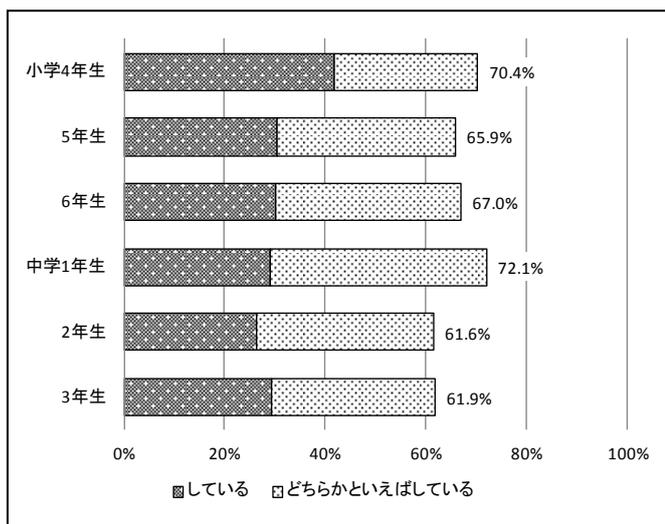
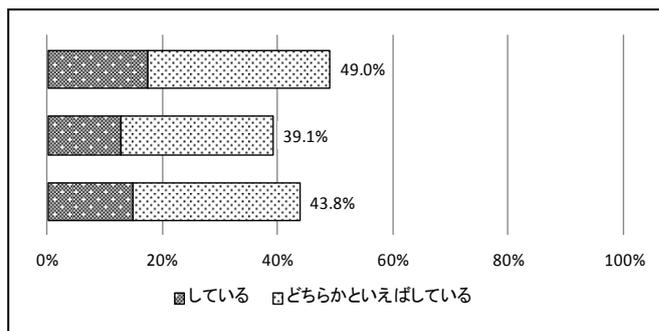
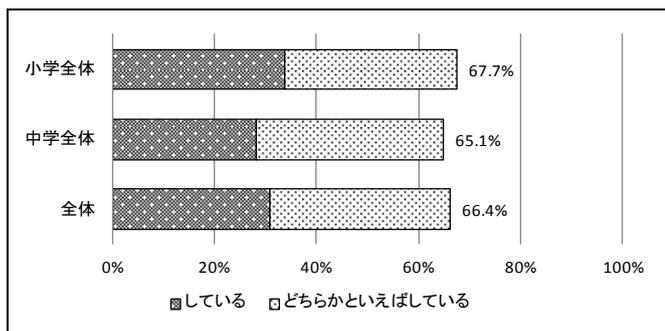
問 5 & 問 5 学級を2つ以上に分けて取り組む学習。 C5 & T5【少人数学習】



問 6 & 問 6 先生が課題を立てて取り組む学習。 C6 & T6【教師設定課題学習】



問7&問7 自分たちで課題を立てて取り組む学習。C7&T7【自己設定課題学習】



児童・生徒の①【学習形態】と教員の①【学習形態】について

- ・【グループ活動】(C2・T2〔児童・生徒と教員の共通設問2〕)について、中学生はグループ活動が多く行われていると感じているのに対して、中学校教員はあまり行っていないと回答しており、ずれがある。
- ・【ペア学習】(C3・T3)について、中学生はペア学習が多く行われていると感じているのに対して、中学校教員はあまり行っていないと回答しており、ずれがある。
- ・【少人数学習】(C5・T5)について、中学生は少人数学習が多く行われていると感じているのに対して、中学校教員はあまり行っていないと回答しており、ずれがある。
- ・【教師設定課題学習】(C6・T6)について、中学3年生は多く行われていると感じているのに対して、中学校教員はそれほど行っていないと回答しており、ずれがある。
- ・【自己設定課題学習】(C7・T7)について、子どもは行われていると感じているのに対して、教員はあまり行っていないと回答しており、ずれがある。

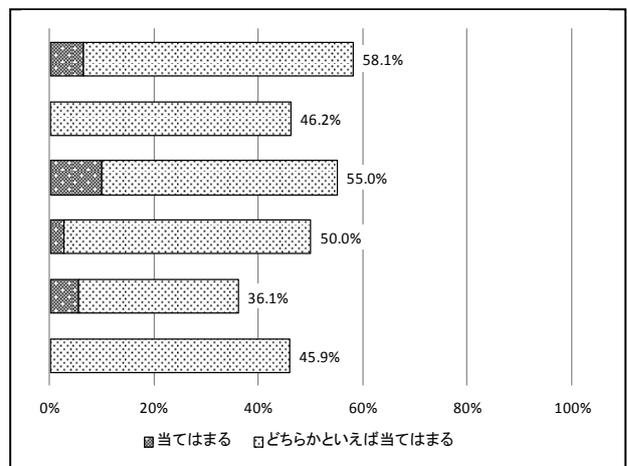
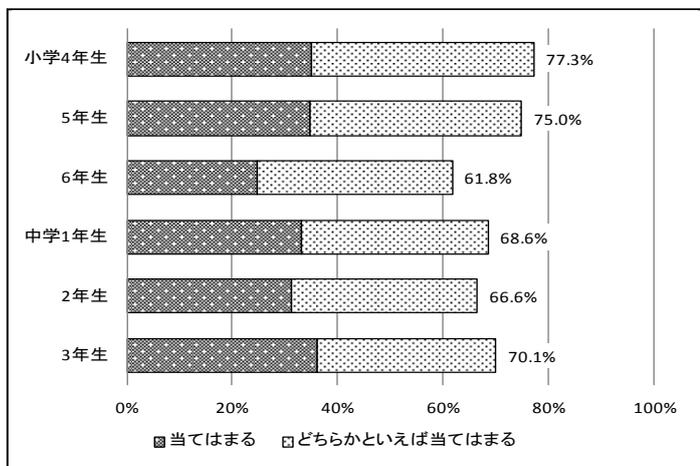
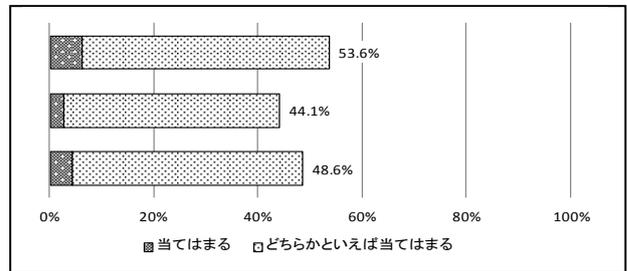
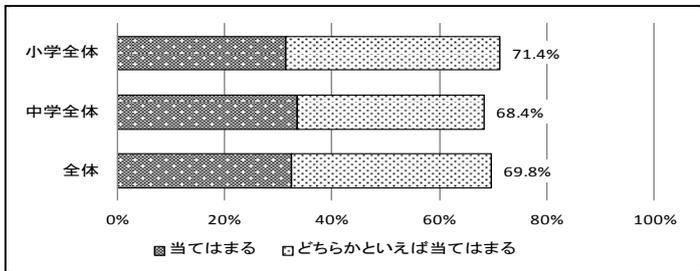


(2) 2 【学習形態の好悪（児童・生徒）】、2 【学習形態の好悪（教員）】

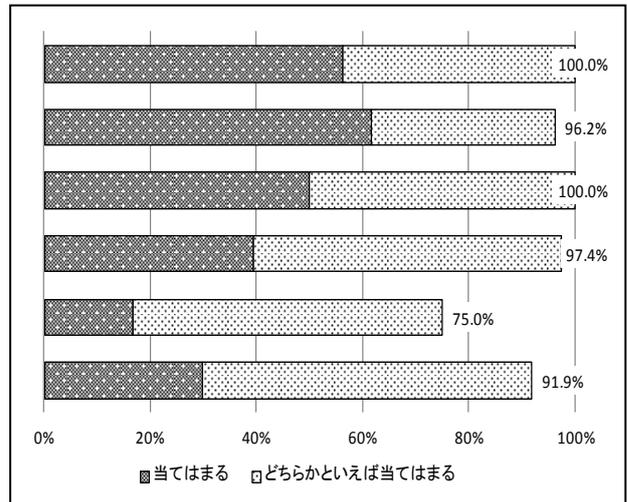
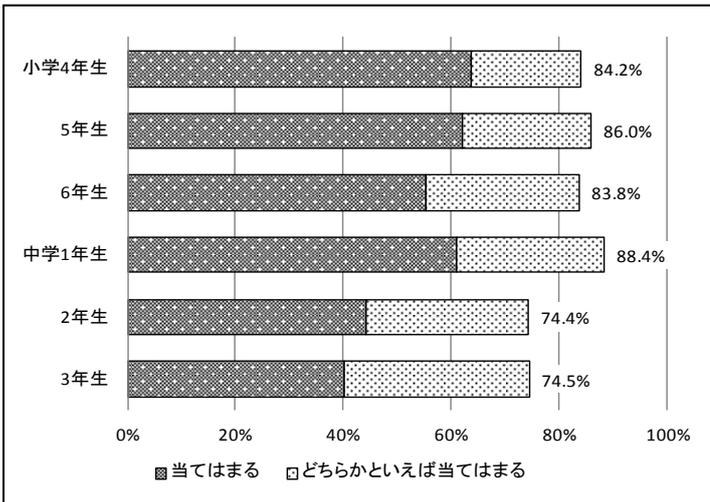
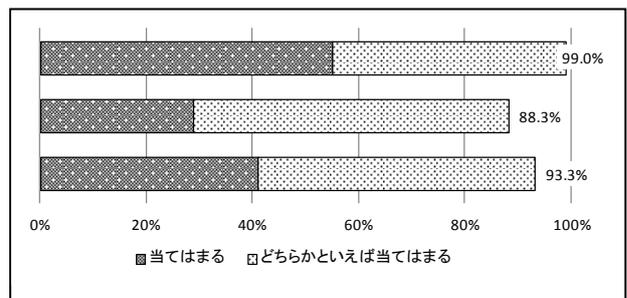
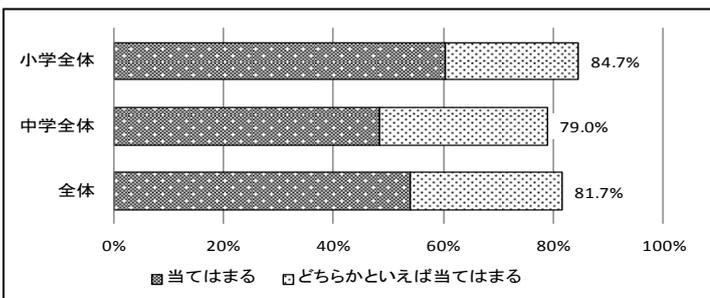
2 次のような授業のやり方は好きですか。
【学習形態の好嫌】

2 児童・生徒は次のような授業のやり方は好きですか。【学習形態の好嫌】

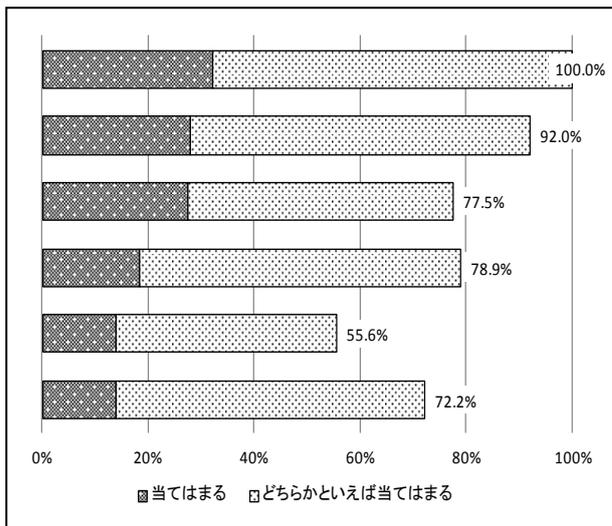
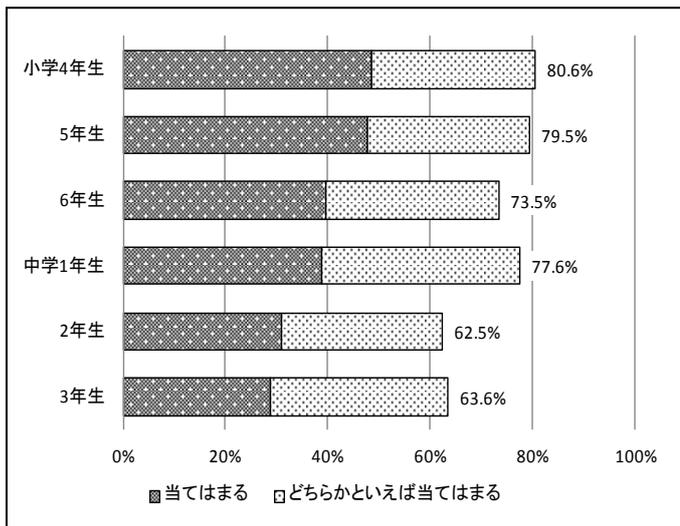
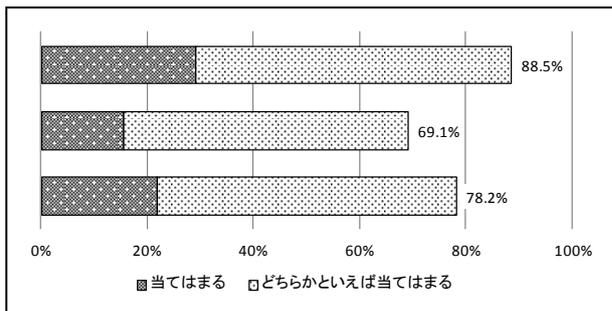
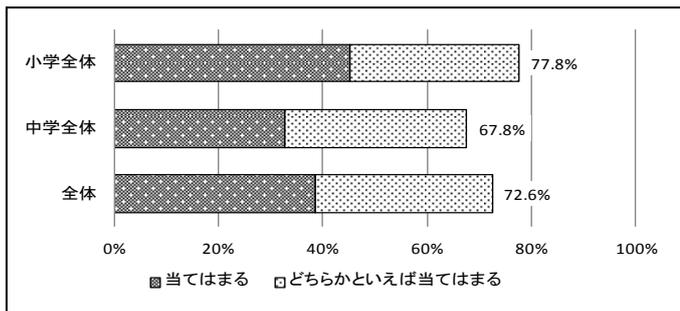
問 8 & 問 8 みんなで先生の説明を聞く学習。C8 & T8【講義形式の学習の好嫌】



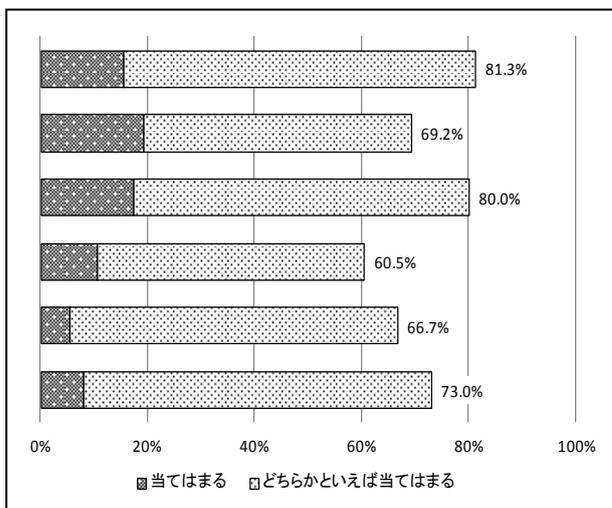
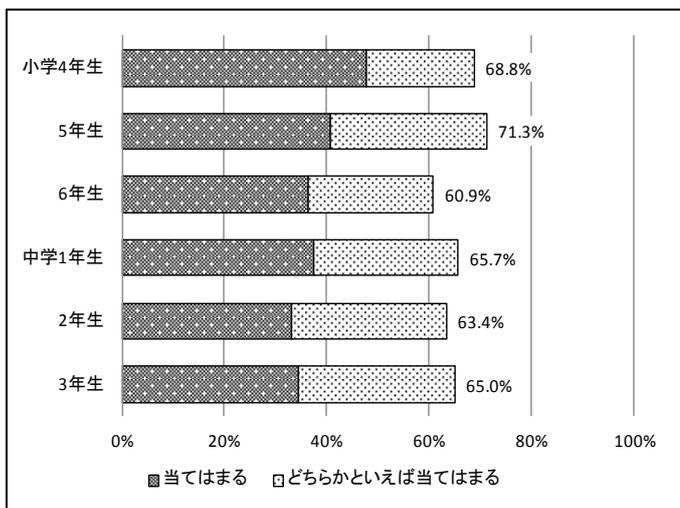
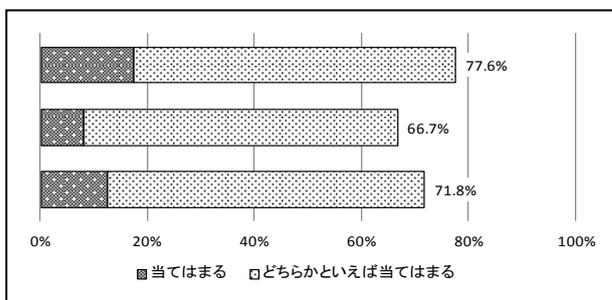
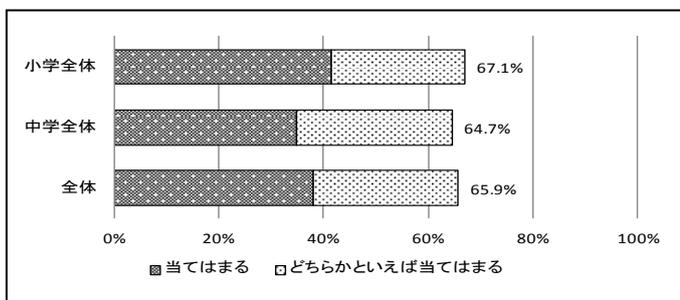
問 9 & 問 9 グループ学習。C9 & T9【グループ学習の好嫌】



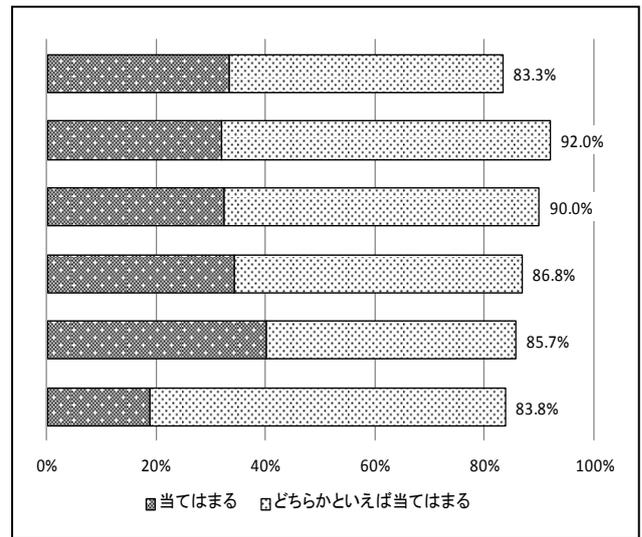
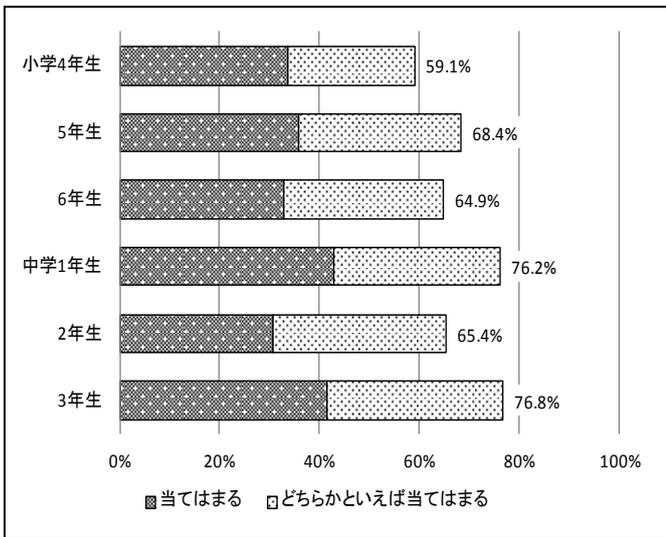
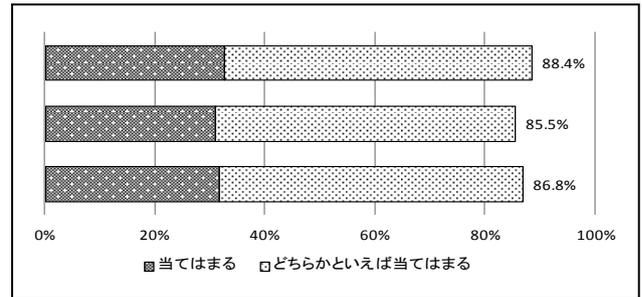
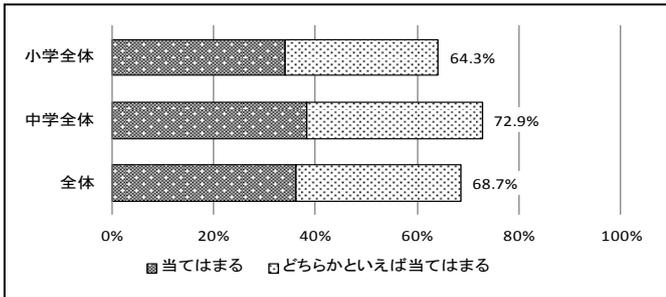
問 10 & 問 10 ペア学習。C10 & T10【ペア学習の好嫌】



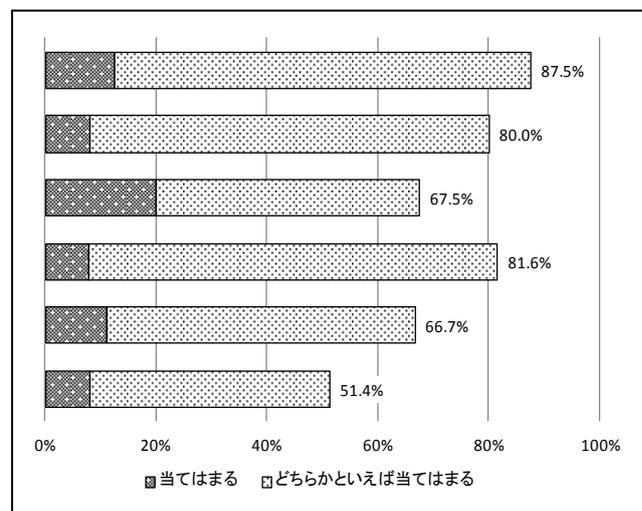
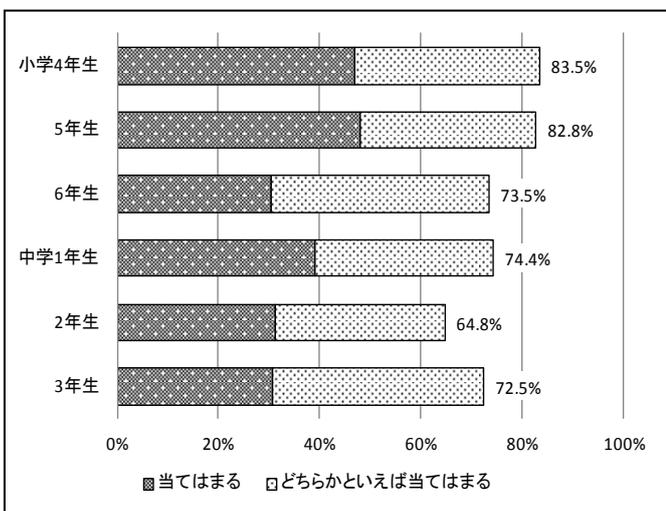
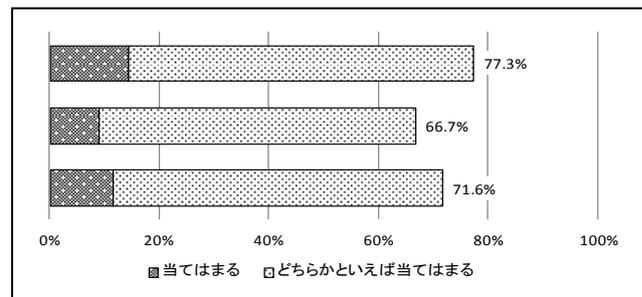
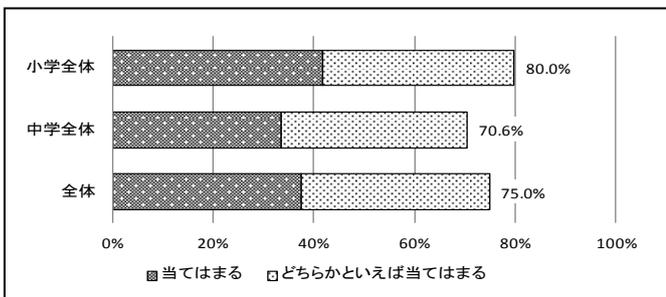
問 11 & 問 11 一人で考える学習。C11 & T11【自己思考学習の好嫌】



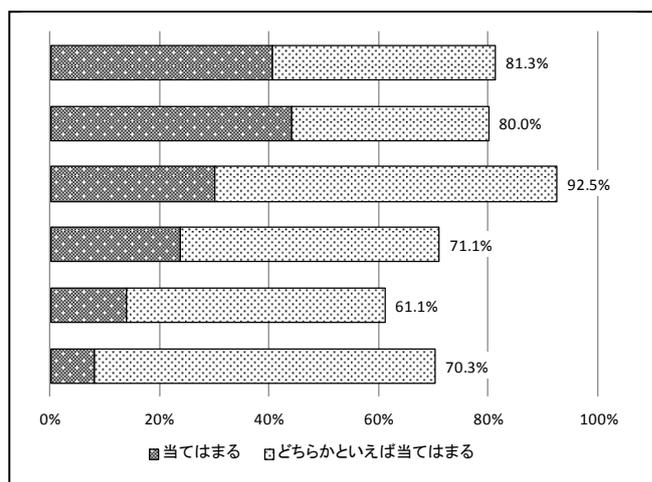
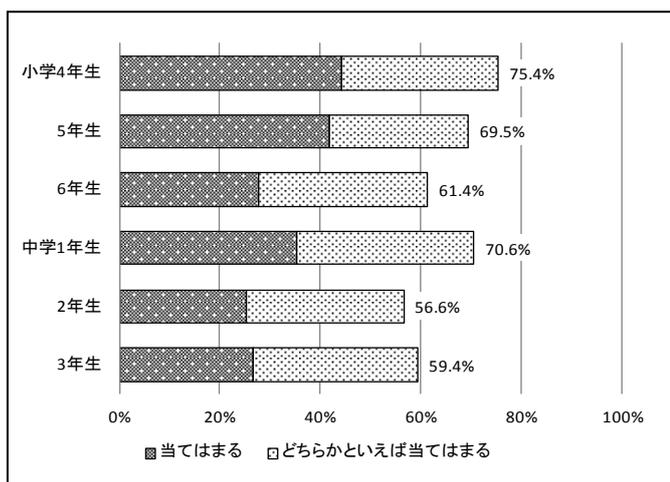
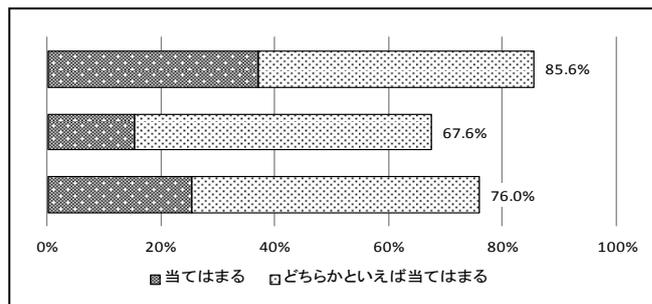
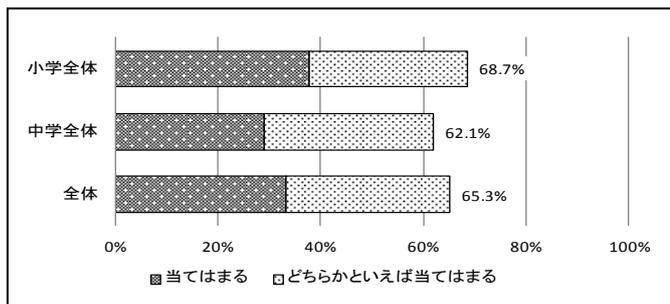
問 12 & 問 12 学級を2つ以上に分けて取り組む学習。 C12 & T12【少人数学習の好嫌】



問 13 & 問 13 先生が課題を立てて取り組む学習。 C13 & T13【教師設定課題学習の好嫌】



問 14 & 問 14 自分たちで課題を立てて取り組む学習。C14 & T14【自己設定課題学習の好嫌】



児童・生徒の2【学習形態の好嫌】と教員の2【学習形態の好嫌】について

- ・【講義形式の学習の好嫌】(C8・T8〔児童・生徒と教員の共通設問8〕)については、どの学年においても教員が思っているよりも子どもの方が好意的である。
- ・【グループ学習の好嫌】(C9・T9)、【少人数学習の好嫌】(C12・T12)、【自己設定課題学習の好嫌】(C14・T14)については、どの学年においても教員が思っているよりも子どもの方が好意的でない。
- ・【自己思考学習の好嫌】(C11・T11)については、子どもは学年間で差があまり見られないが、教員は学年間で大きくバラつきがある。
- ・【教師設定課題学習の好嫌】(C13・T13)については、教員が思っているよりも子どもの方が好意的である。
- ・【自己設定課題学習の好嫌】(C14・T14)については、小学校5・6年においては、教員が思っているよりも子どもは好意的ではない。小学校4年及び中学生は、教員と子どもとの間にほとんど差がない。



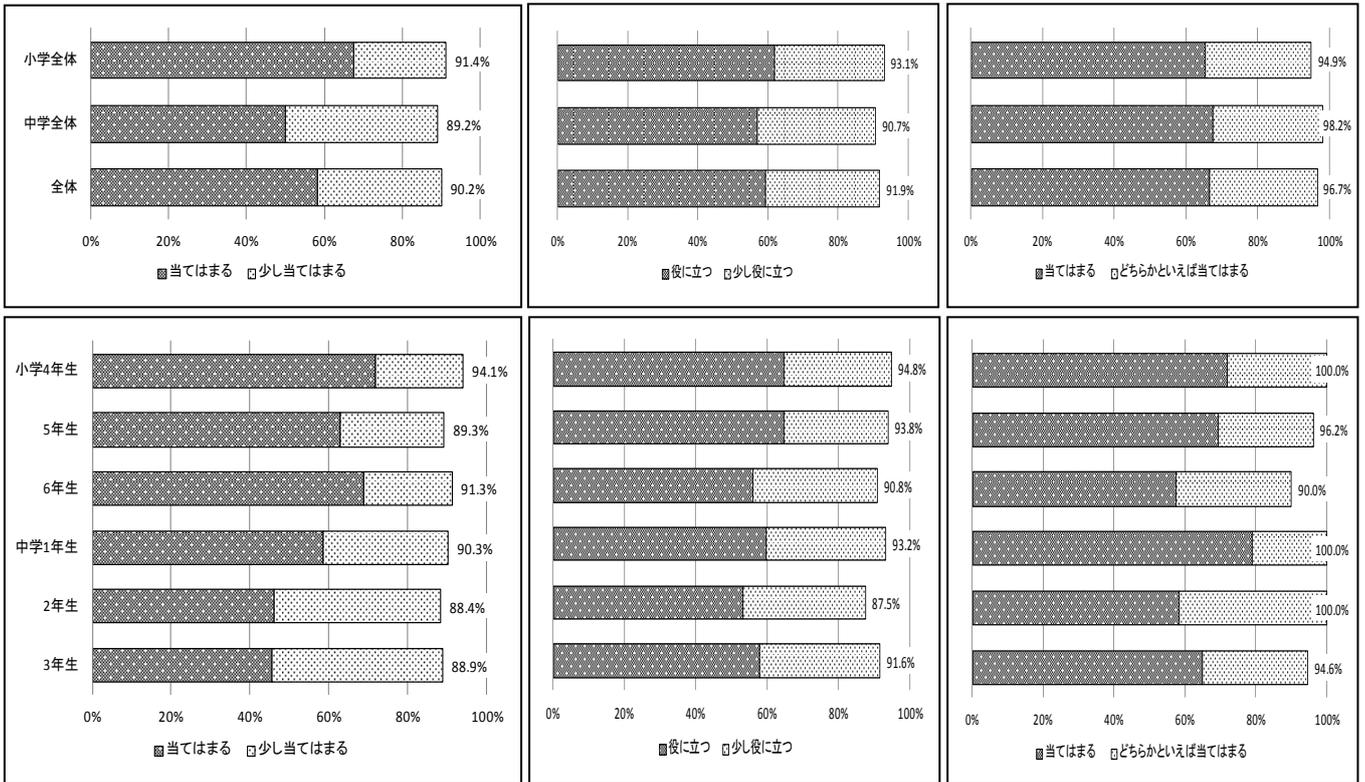
(3) 3 4 【学習状況の認知・効用度(児童・生徒)】、3 【指導状況の自己評価(教員)】

3あなたがこれまでに受けた授業について、当てはまるものを選んでください。
【学習状況の認知】

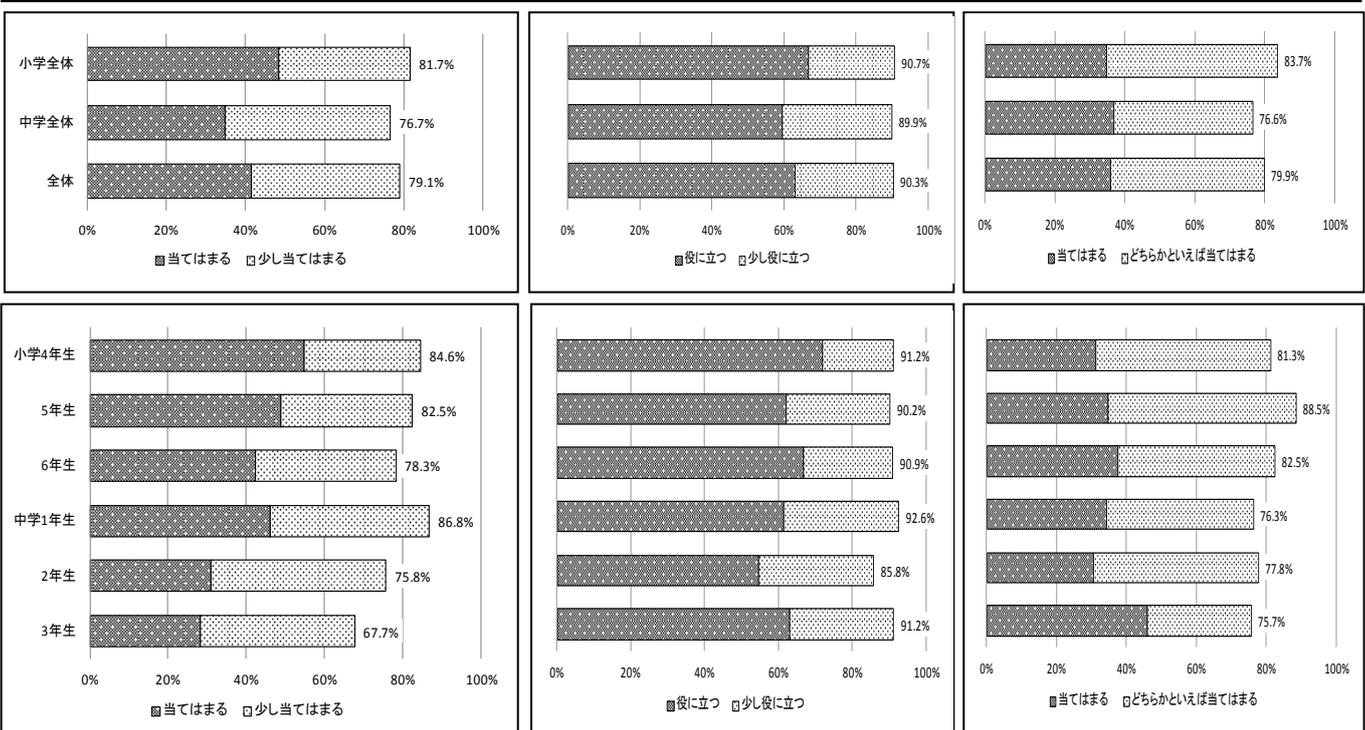
4あなたは、学力向上のために次のような授業のやり方が役立つと思いますか。
【学習状況の効用度】

3あなたが、今年度行った授業について、当てはまるものを選んでください。
【指導状況の自己評価】

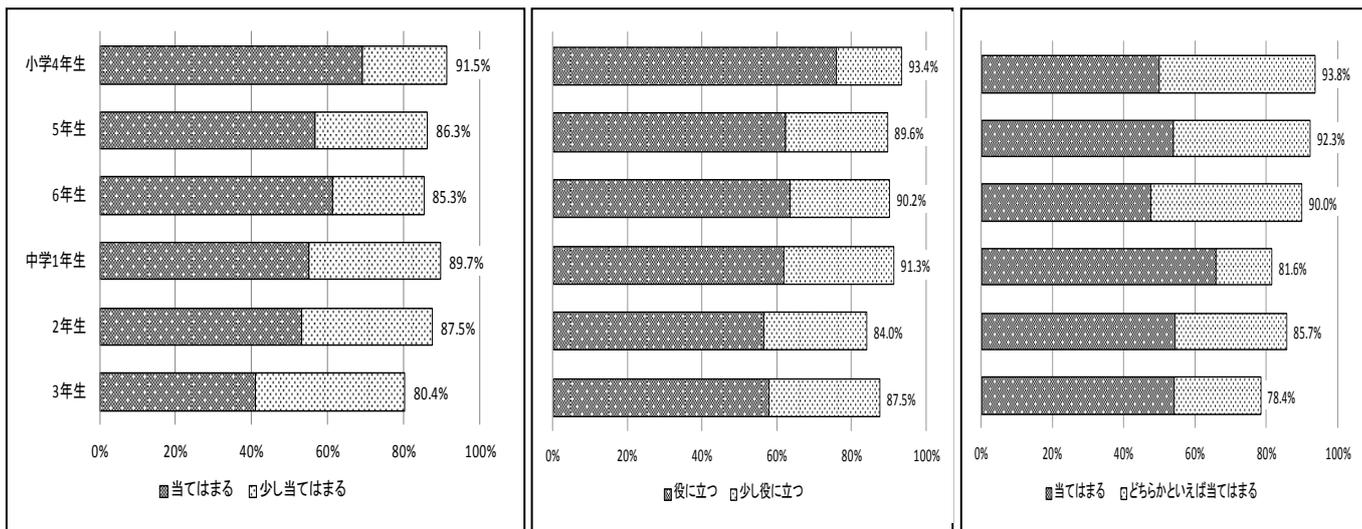
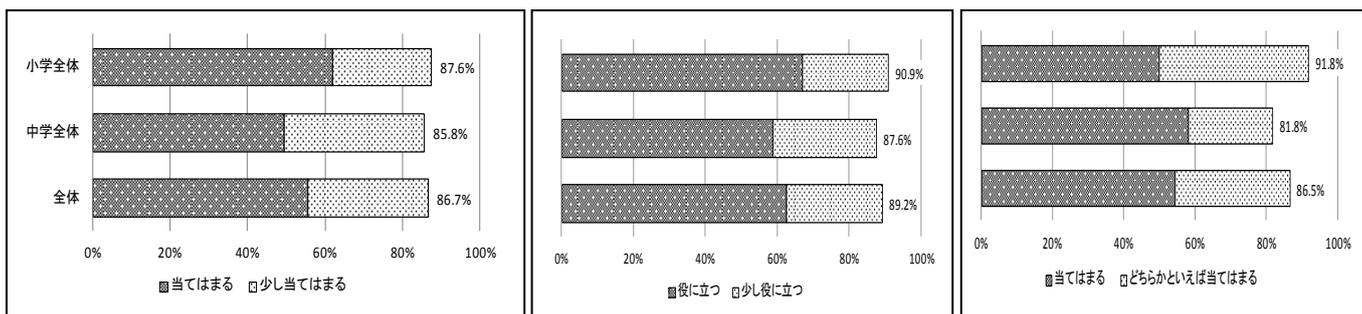
問 15&問 25&問 15 授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)の提示。
C15【目標提示の認知】&C25【目標提示の効用度】&T15【目標提示の自己評価】



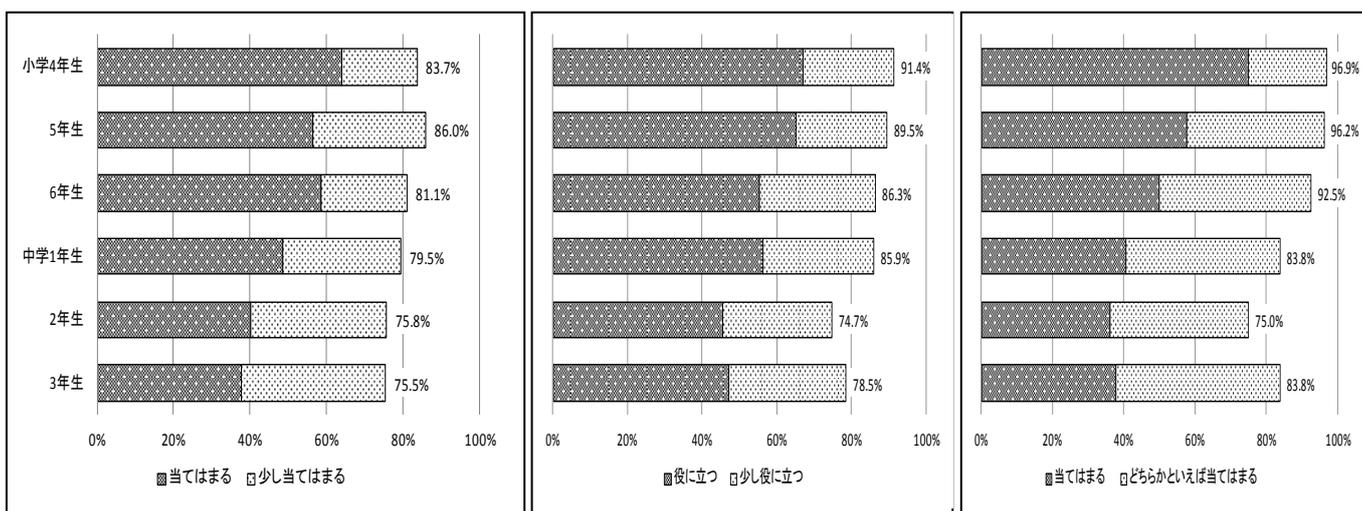
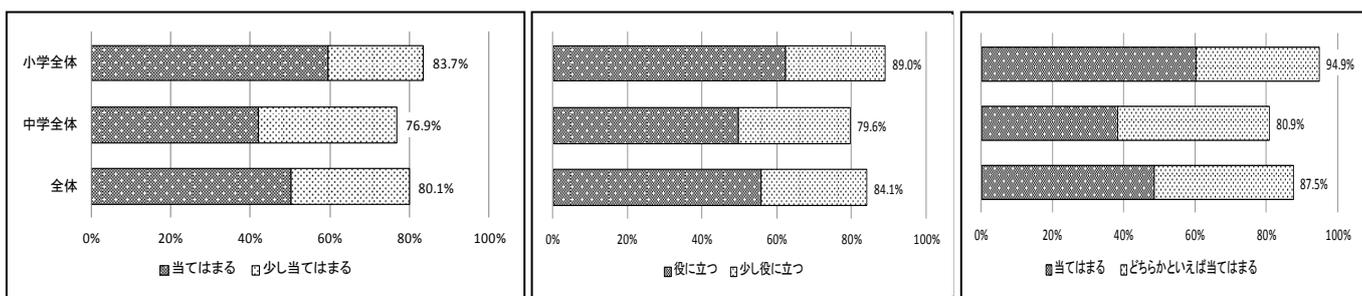
問 16&問 26&問 16 授業の最後に、学習内容を振り返り。
C16【振り返り活動実施の認知】&C26【振り返り活動実施の効用度】&T16【振り返り活動実施の自己評価】



問 17&問 27&問 17 授業では、学習目標(めあて・ねらい)や振り返り(まとめ等)をノートやプリントに書く。
 C17【目標や振り返りの転写・記述の認知】&C27【目標や振り返りの転写・記述の効用度】&T17【目標や振り返りの転写・記述の自己評価】

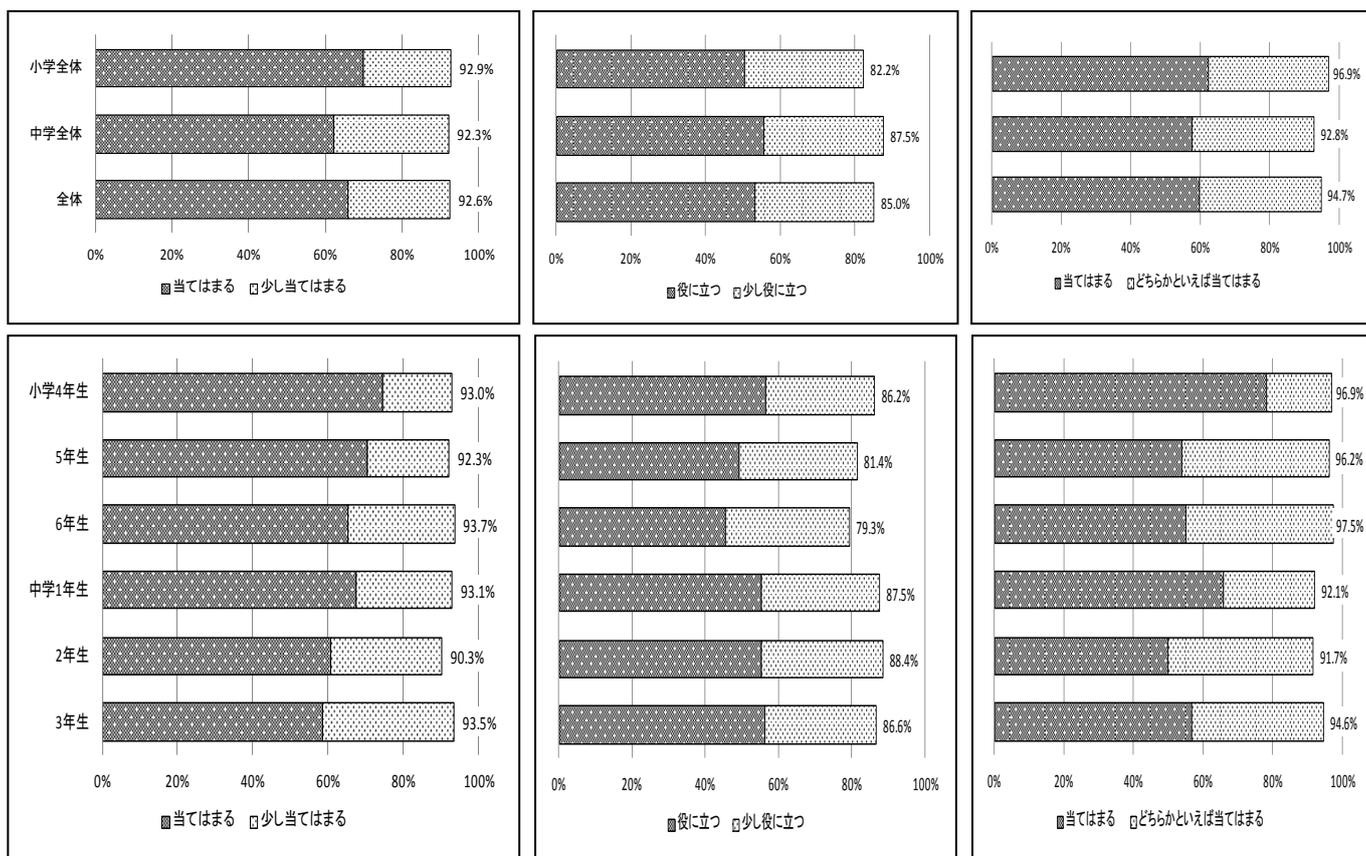


問 18&問 28&問 18 授業では、自分の考えを発表する。
 C18【発表の機会の確保の認知】&C28【発表の機会の確保の効用度】&T18【発表の機会の確保の認知】



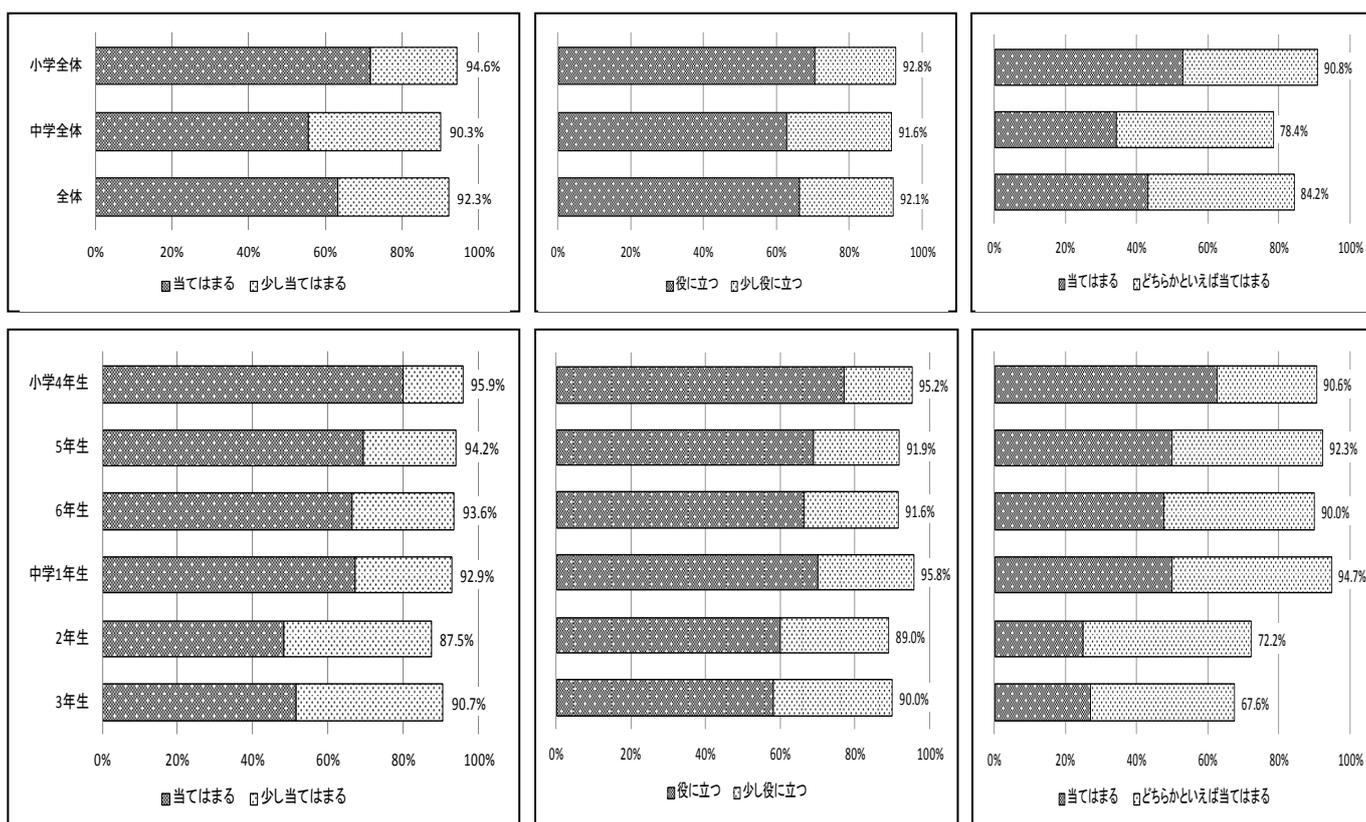
問 19 & 問 29 & 問 19 授業では、ひとりで考える時間。

C19【思考時間の確保の認知】& C29【思考時間の確保の効用度】& T19【思考時間の確保の自己評価】

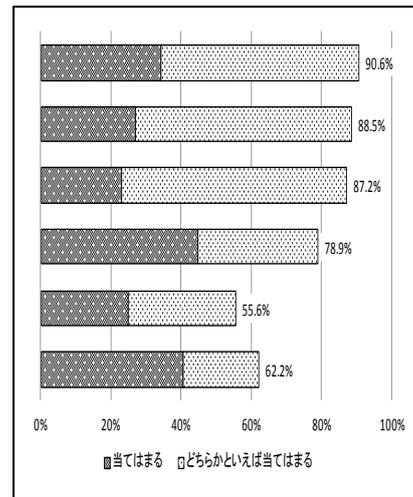
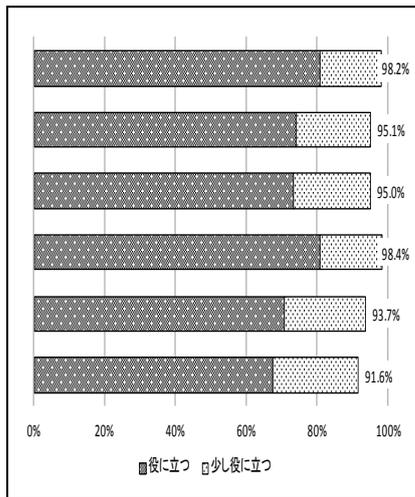
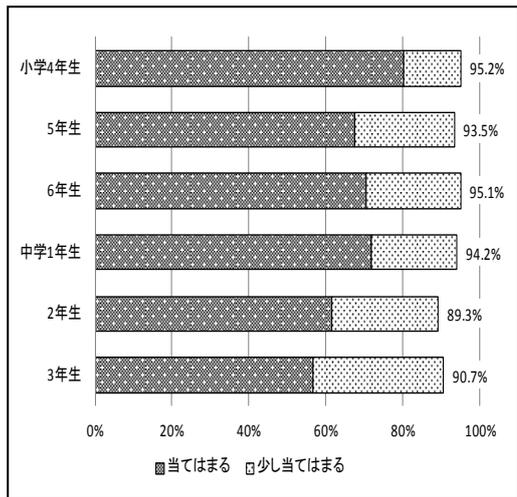
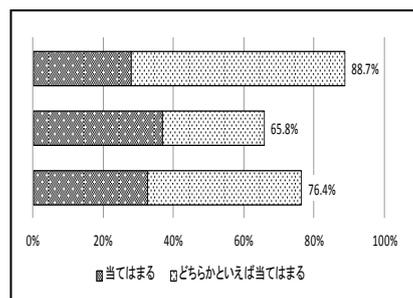
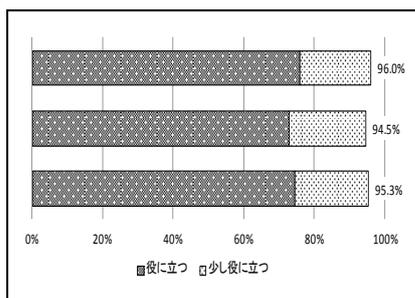
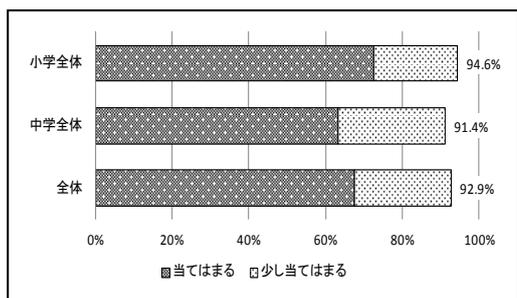


問 20 & 問 30 & 問 20 授業では、友だちと話し合う活動。

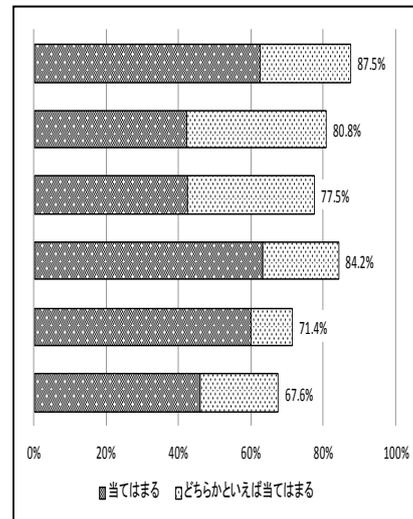
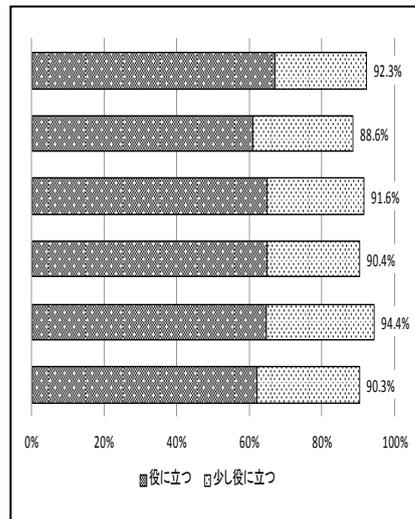
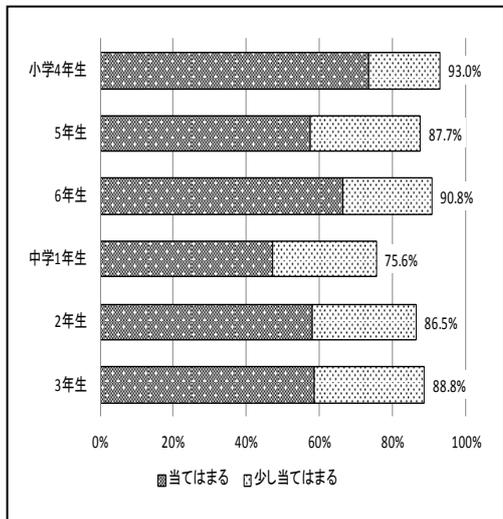
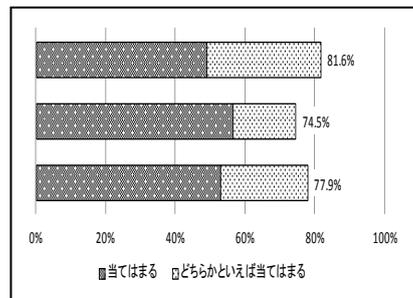
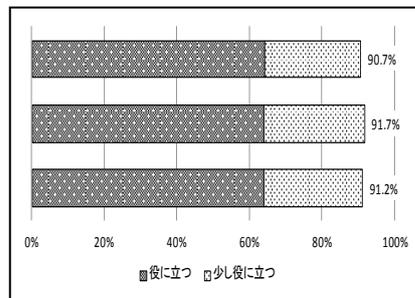
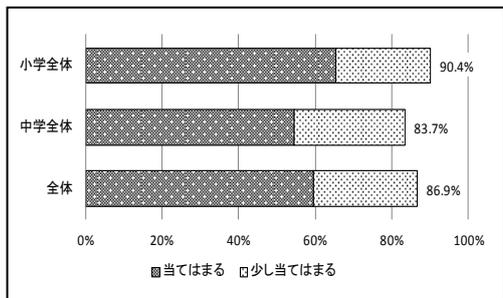
C20【話し合い活動の実施の認知】& C30【話し合い活動の実施の効用度】& T20【話し合い活動の実施の自己評価】



問 21 & 問 31 & 問 21 授業では、実験や観察、創作、実習などの作業や体験をする場面。
 C21【作業・体験の実施の認知】&C31【作業・体験の実施の効用度】&T21【作業・体験の実施の自己評価】

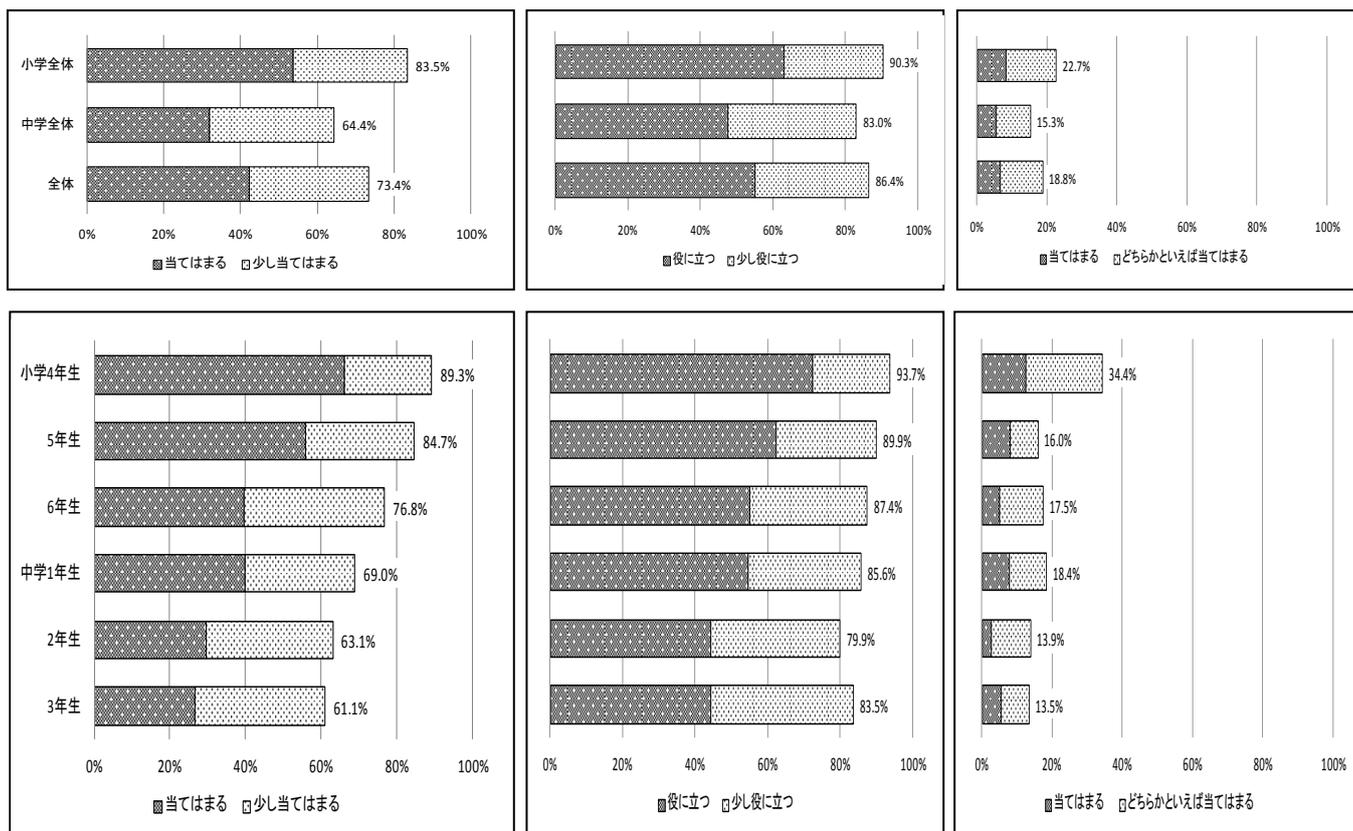


問 22 & 問 32 & 問 22 授業では、パソコンやプロジェクターなどの機器を活用して学習。
 C22【ICT 機器の活用の認知】&C32【ICT 機器の活用の効用度】&T22【ICT 機器の活用の自己評価】



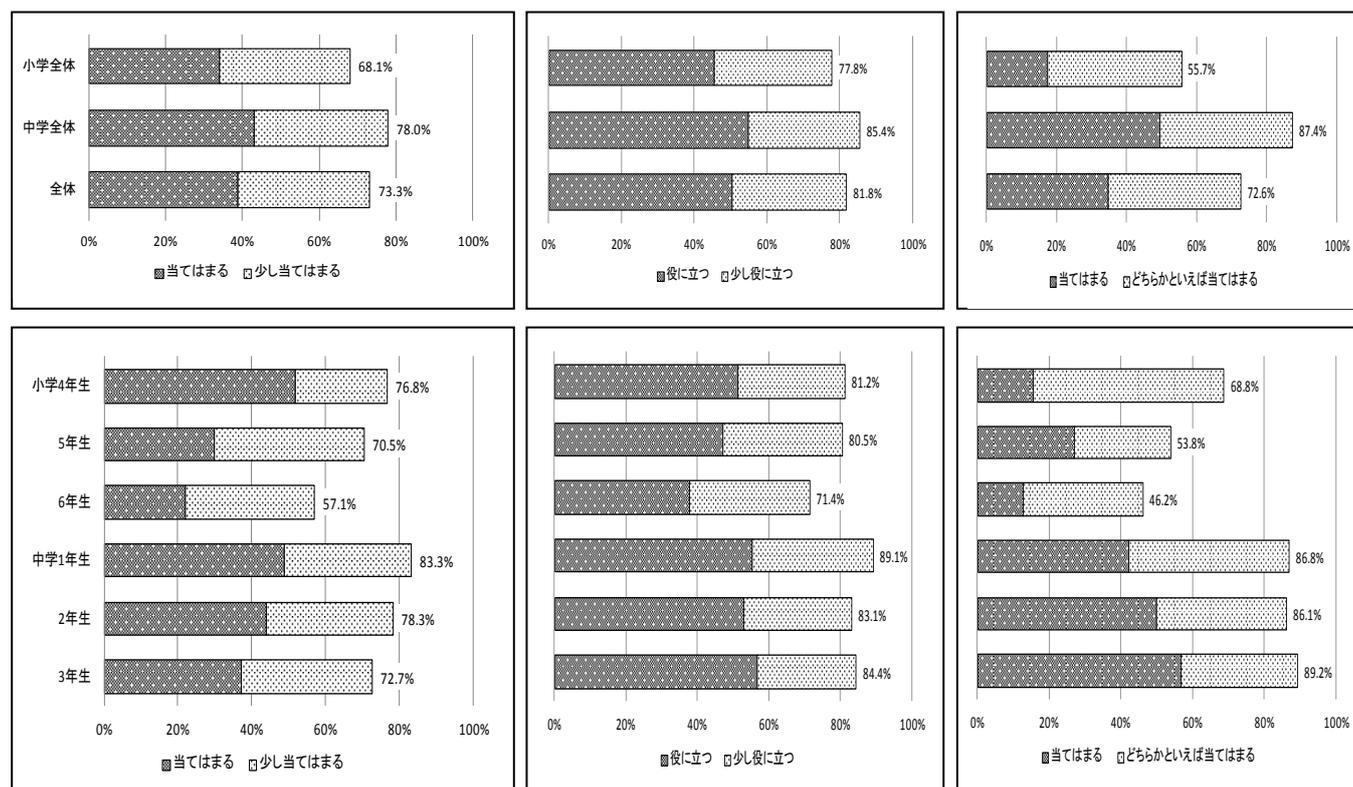
問 23&問 33&問 23 授業では、先生以外の人との説明や体験などの話を聞く。

C23【外部人材の活用の認知】&C33【外部人材の活用の効用度】&T23【外部人材の活用の自己評価】



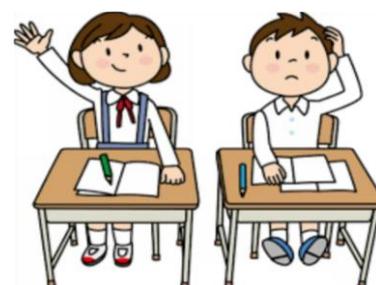
問 24&問 34&問 24 授業では、学習する前にどんなことを評価するのかを伝えられていた。

C24【評価内容の事前説明の認知】&C34【評価内容の事前説明の効用度】&T24【評価内容の事前説明の自己評価】



児童・生徒の③④【学習状況の認知・効用度】、教員の③【指導状況の自己評価】について

- ・【目標提示】(C15 認知〔児童・生徒の間 15〕・C25 効用度〔児童・生徒の間 25〕・T15 自己評価〔教員の問 15〕)については、どの校種、どの学年も高い割合を示している。
- ・【振り返り活動】(C16 認知・C26 効用度・T16 自己評価)については、子ども及び教員の実施の認知・自己評価よりも、子どもが感じている効用度の割合の方が高い。
- ・【発表の機会の確保】(C18 認知・C28 効用度・T18 自己評価)については、学年が上がるにつれ発表の機会が減少し、それに伴い発表の効用度も減少していて、教員の自己評価と一致している。
- ・【思考時間の確保】(C19 認知・C29 効用度・T19 自己評価)については、小・中学校ともに一人で考える思考時間を確保できているが、子どもの思う効用度は、他の学習活動と比較するとやや低い。
- ・【話し合い活動の実施】(C20 認知・C30 効用度・T20 自己評価)について、中学生は話し合い活動を実施し、その効用度も感じているが、中学校の教員はそれほど実施できていないと自己評価している。
- ・【作業・体験の実施】(C21 認知・C31 効用度・T21 自己評価)について、子どもは実験や観察、創作等の作業を実施し、その効用度も感じているが、教員はそれほど実施できていないと自己評価している。
- ・【ICT機器の活用】(C22 認知・C32 効用度・T22 自己評価)について、ICT機器の活用の実施については学年等でバラつきはあるが、その効用度については、どの学年も高い。
- ・【外部人材の活用】(C23 認知・C33 効用度・T23 自己評価)については、教員の外部人材の活用の自己評価は低いが、子どもが感じている効用度はとても高い。
- ・【評価内容の事前説明】(C24 認知・C34 効用度・T24 自己評価)について、小学生及び小学校教員は評価内容の事前説明等の割合が低いが、中学校は子どもも教員もともに高い。

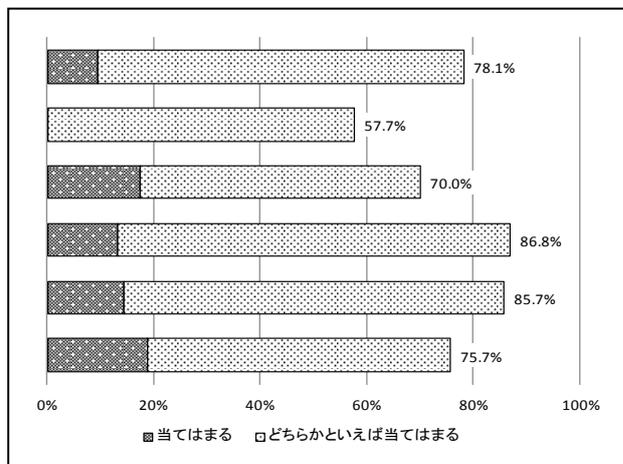
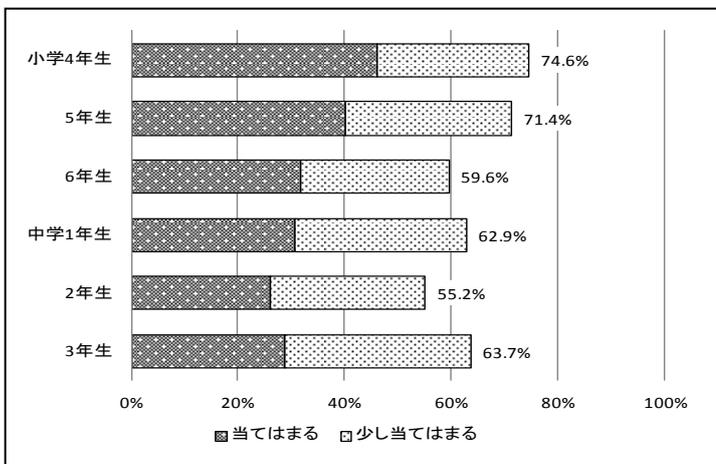
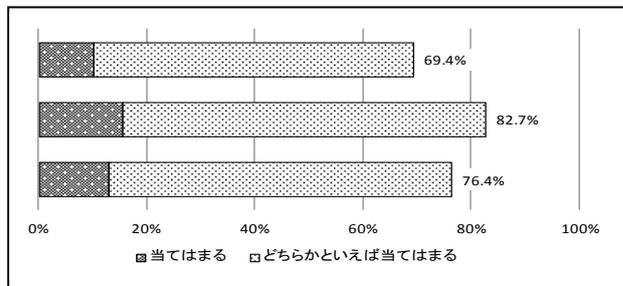
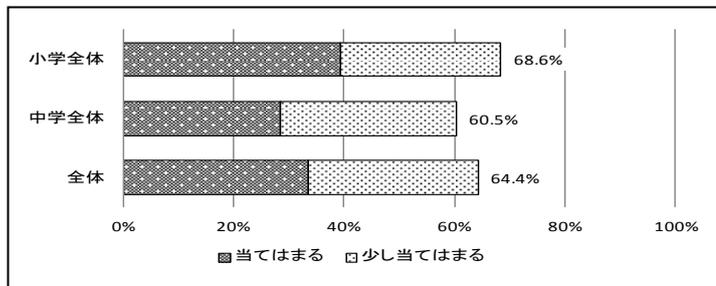


(4) 5【学習の自己評価(児童・生徒)】、4【児童・生徒の学習状況の評価(教員)】

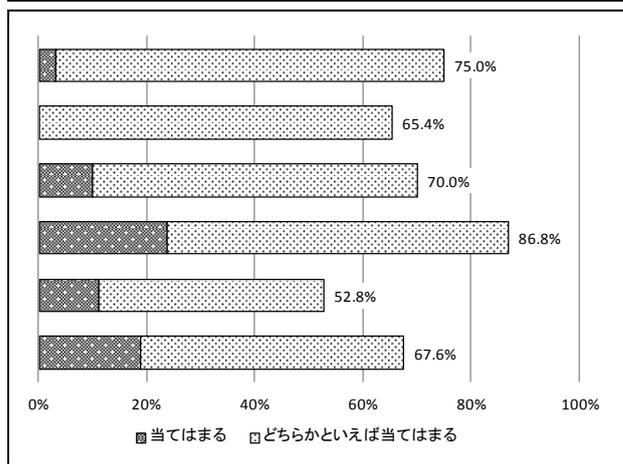
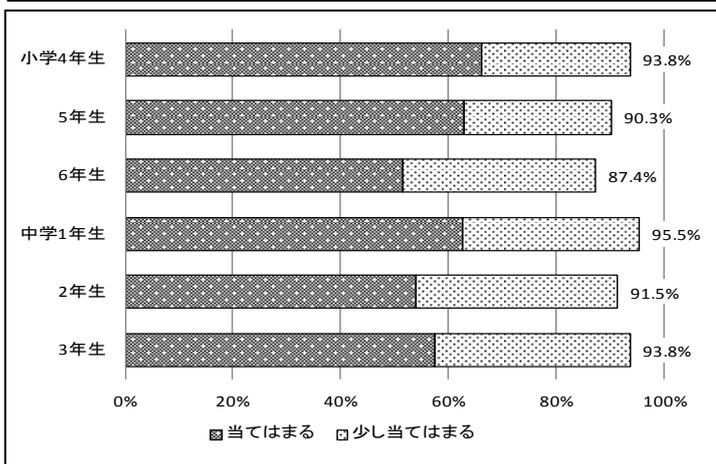
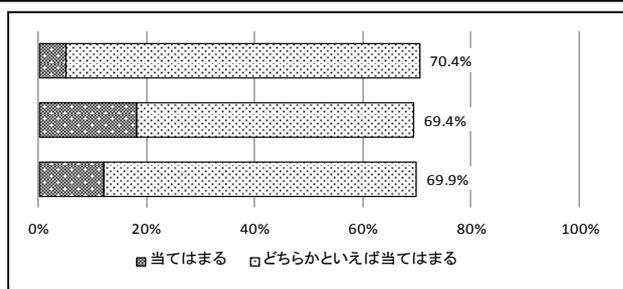
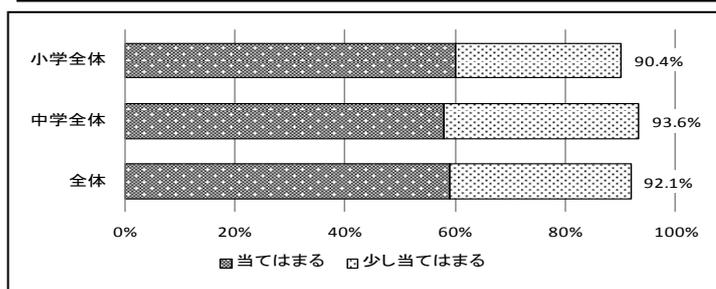
5 自分自身の学習を振り返って、当てはまるものを1つずつ選んでください。【学習の自己評価】

4 次のことは、あなたが担当している児童・生徒の状況について、どれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。【児童・生徒の学習状況の評価】

問 35 & 問 25 授業中、自分の考えや意見を発表することができる。
C35【意見等の発表の自己評価】& T25【意見等の発表の学習状況の評価】

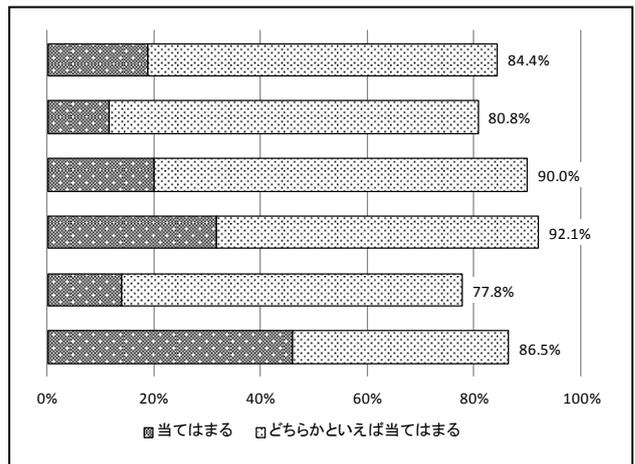
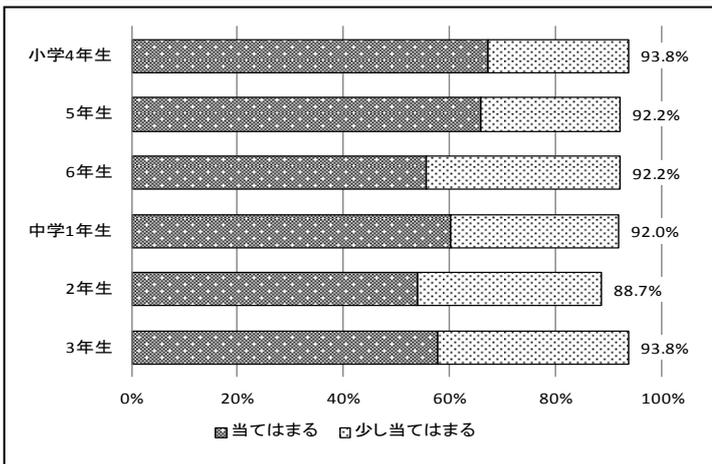
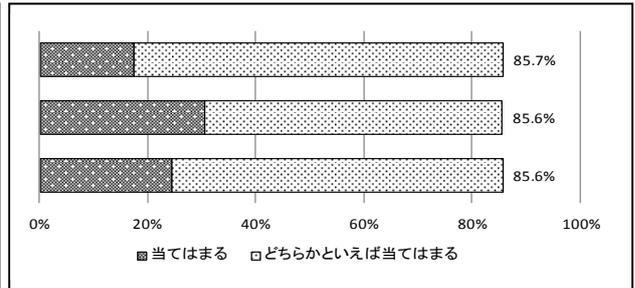
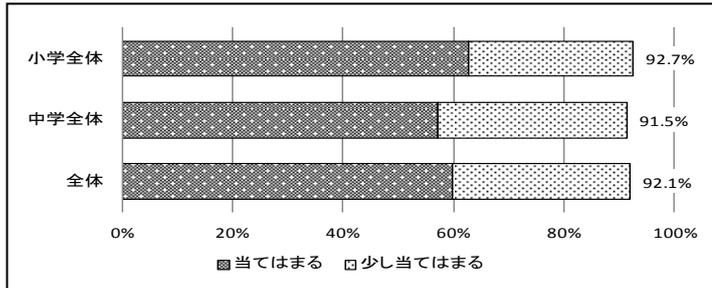


問 36 & 問 26 授業中、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる。
C36【友達の話等への傾聴の自己評価】& T26【友達の話等への傾聴の学習状況の評価】



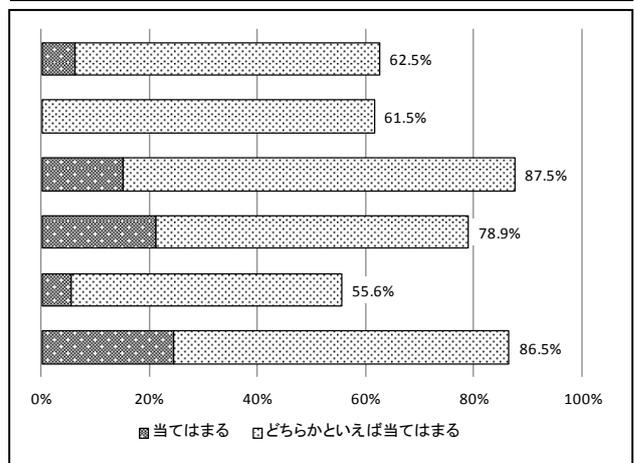
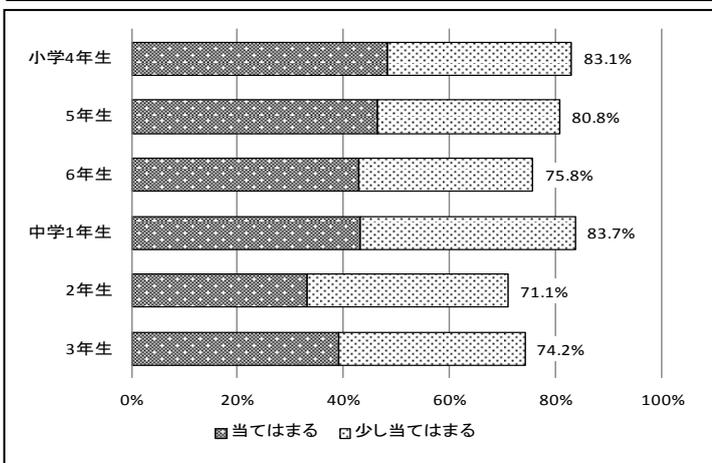
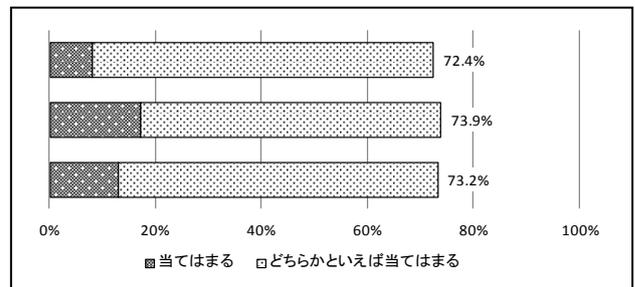
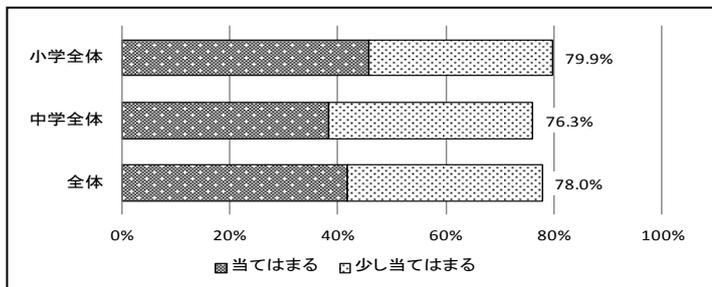
問 37&問 27 授業中、先生の話聞くことができる。

C37【教師の話等への傾聴の自己評価】&T27【教師の話等への傾聴の学習状況の評価】

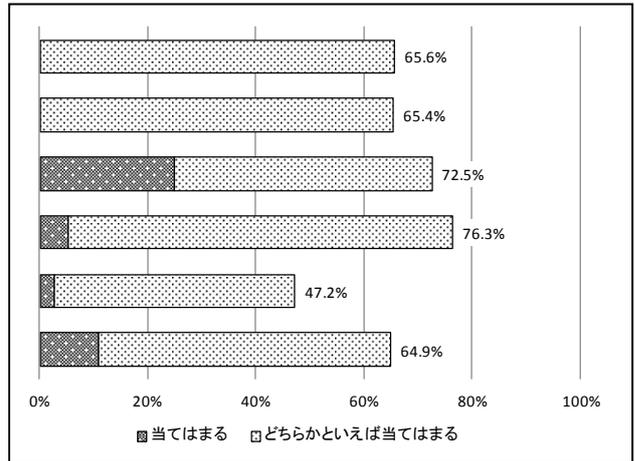
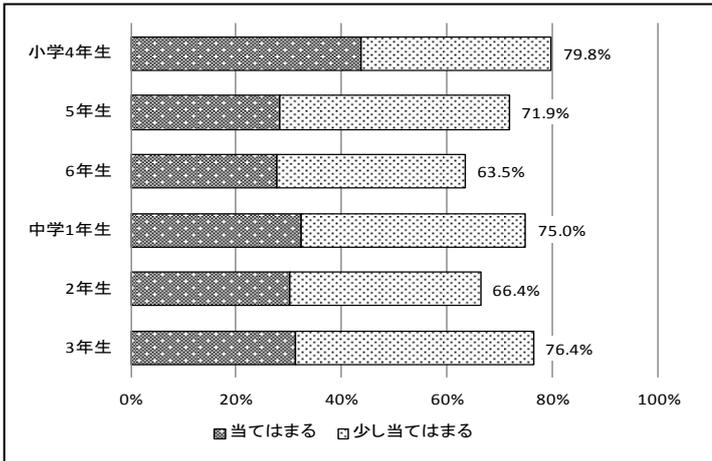
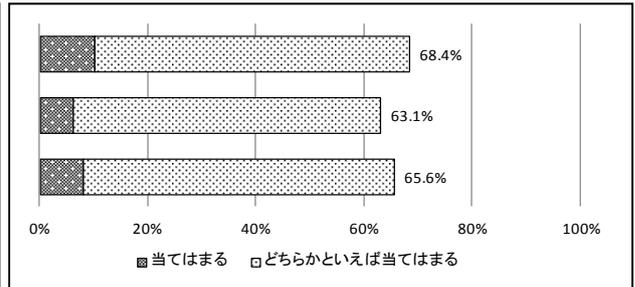
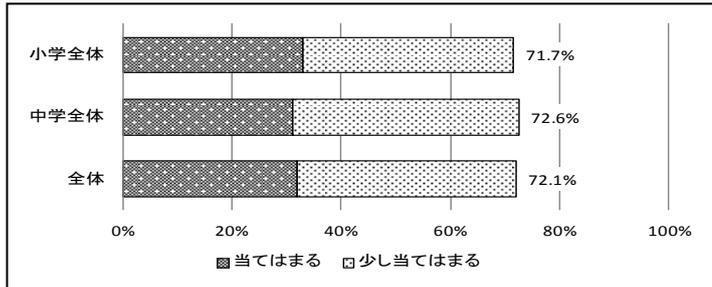


問 38&問 28 授業中、自分の考えを文章に書くことができる。

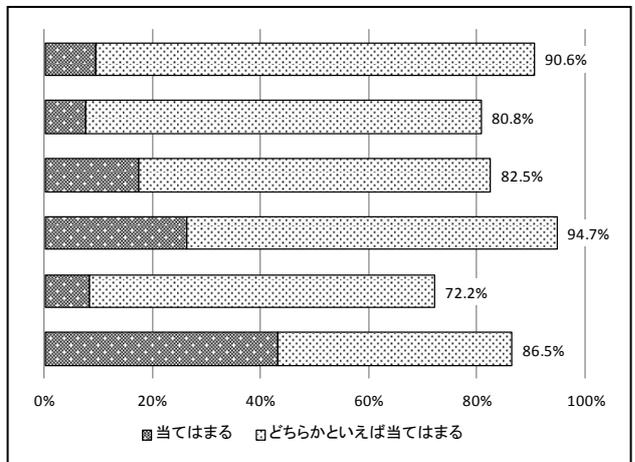
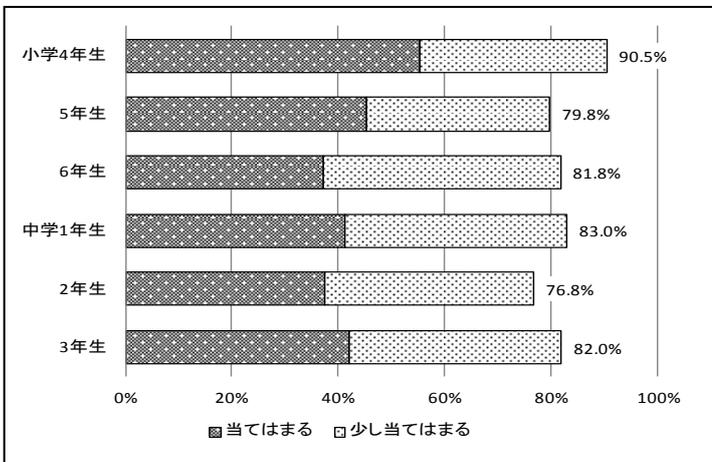
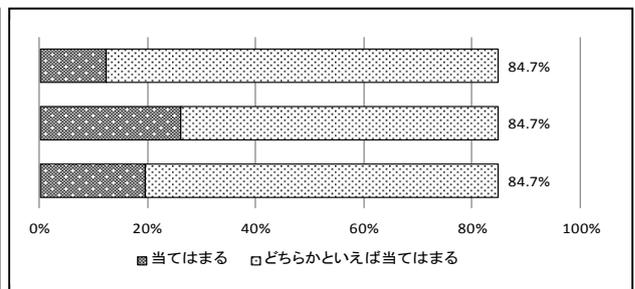
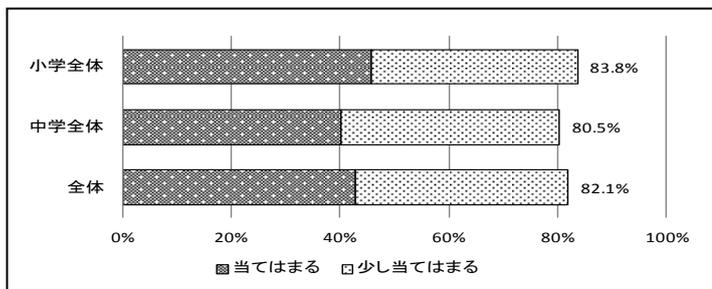
C38【自分の考えの文章化の自己評価】&T28【自分の考えの文章化の学習状況の評価】



問 39&問 29 授業中、話し合う活動で自分の考えを深めたり広げたりすることができる。
 C39【話し合いでの思考深化の自己評価】&T29【話し合いでの思考深化の学習状況の評価】

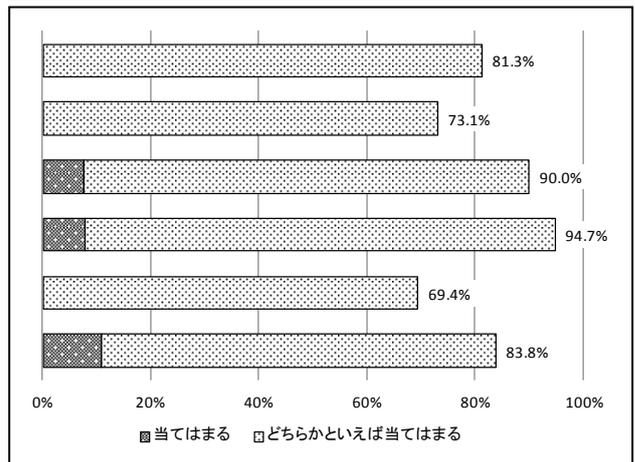
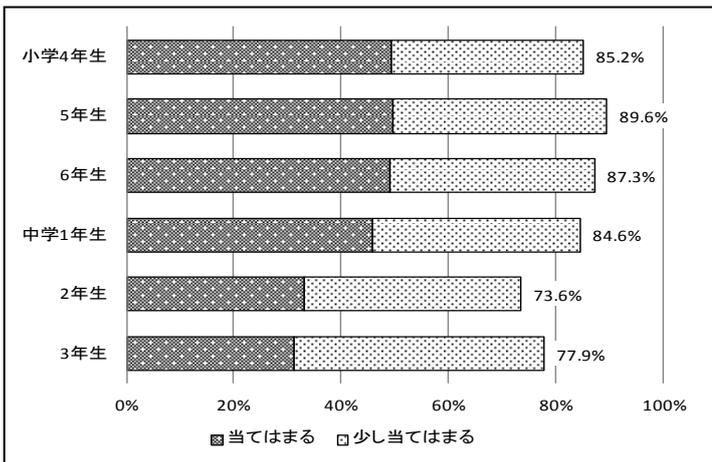
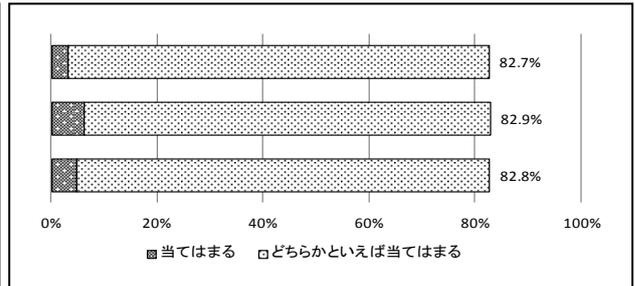
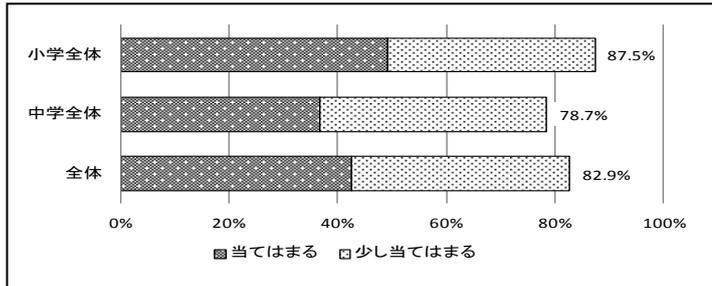


問 40&問 30 授業は、集中して取り組んでいる。
 C40【授業への集中度の自己評価】&T30【授業への集中度の学習状況の評価】



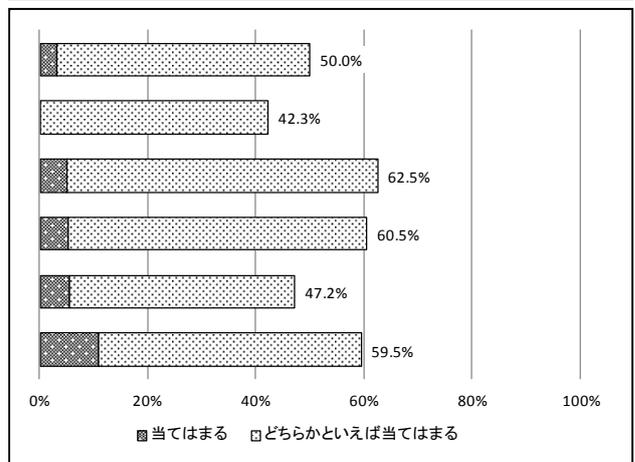
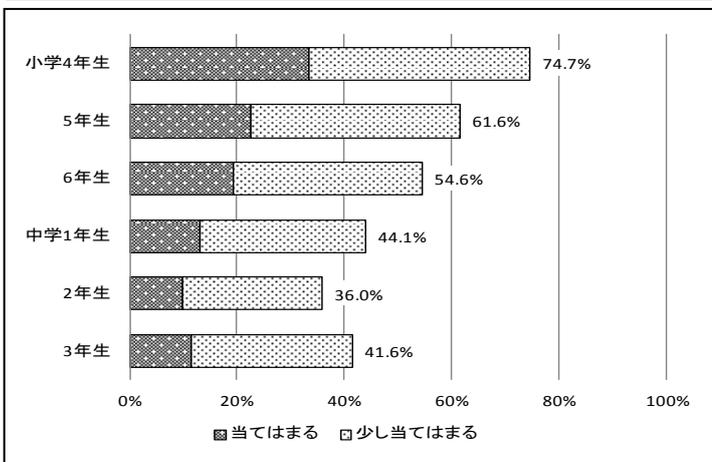
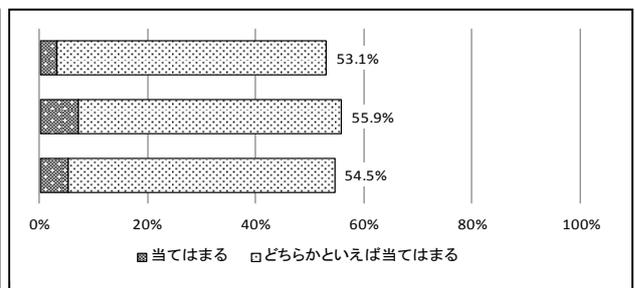
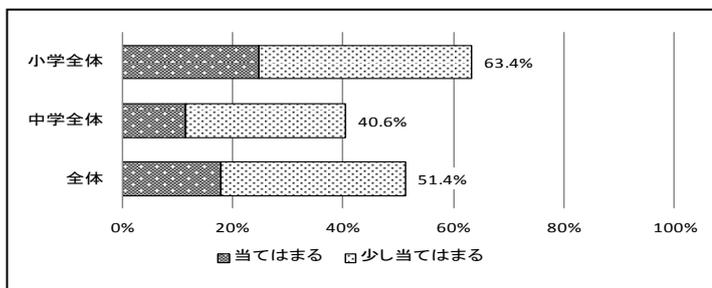
問 41&問 31 授業の内容は、理解できている。

C41【授業内容の理解度の自己評価】&T31【授業内容の理解度の学習状況の評価】



問 42&問 32 勉強は、できる方だと思う。

C42【学力全般の到達度の自己評価】&T32【学力全般の到達度の学習状況の評価】



児童・生徒の【5】【学習の自己評価】と教員の【4】【児童・生徒の学習状況の評価】について

- ・【意見等の発表の評価】（C35 自己評価〔児童・生徒の間 35〕・T25 評価〔教員の間 25〕）について、中学生は 60.5%、中学校教員は 82.7%と中学生の自己評価より、中学校教員の評価の方が高い。
- ・【友達の話等への傾聴の評価】（C36 自己評価・T26 評価）について、子どもは 92.1%、教員は 69.9%と子どもの自己評価が高いのに比べて、教員の評価は低い。
- ・【教師の話等への傾聴の評価】（C37 自己評価・T27 評価）について、子どもは 92.1%、教員は 85.6%と子どもの自己評価が高いのに比べて、教員の評価は低い。
- ・【自分の考えの文章化の評価】（C38 自己評価・T28 評価）について、子どもは 78.0%、教員は 73.2%と子どもの自己評価に比べて、教員の評価は低い。
- ・【話し合いでの思考深化の評価】（C39 自己評価・T29 評価）について、子どもは 72.1%、教員は 65.6%と子どもの自己評価に比べて、教員の評価は低い。
- ・【授業への集中度の評価】（C40 自己評価・T40 評価）について、子どもは 82.1%、教員は 84.7%と子どもの自己評価も、教員の評価も高い。
- ・【授業内容の理解度の評価】（C41 自己評価・T31 評価）について、子どもは 82.9%、教員は 82.8%と子どもの自己評価も、教員の評価も高い。
- ・【学力全般の到達度の評価】（C42 自己評価・T32 評価）について、子どもは学年が上がるにつれて評価が低くなり全体で 51.4%、教員の評価は学年でバラつきがあるものの全体で 54.5%と子どもと教員の評価が同程度となっている。
- ・子どもも教員も、授業内容の理解度と比較して、学力全般の到達度は低いと評価している。

コラム

小・中学校では「グループ活動」や「話し合い」など協働的な学習がもっとも意識されている。

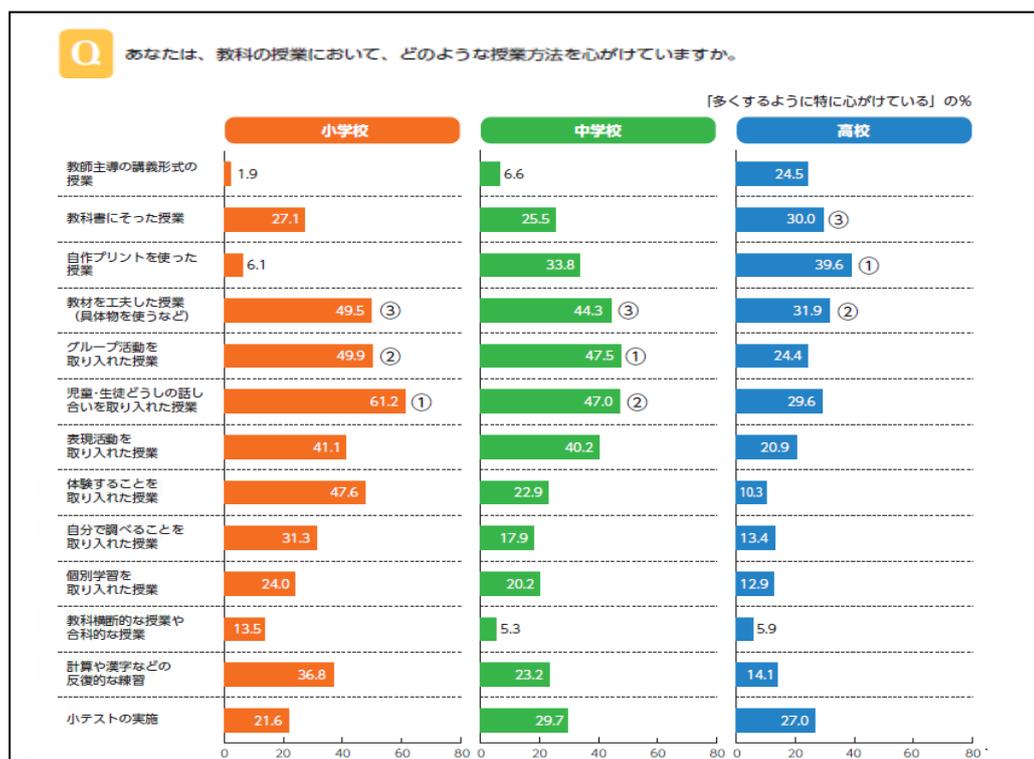


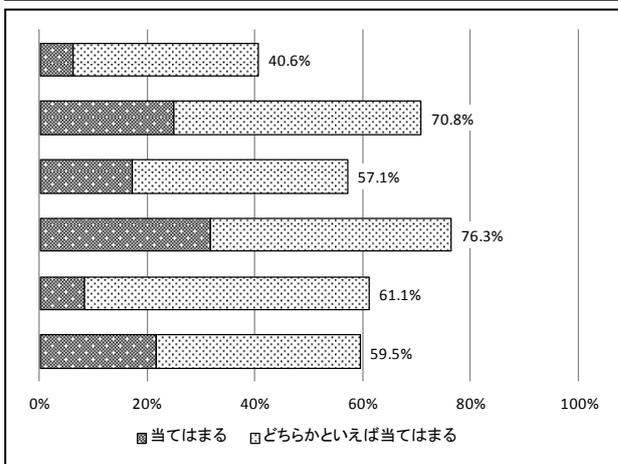
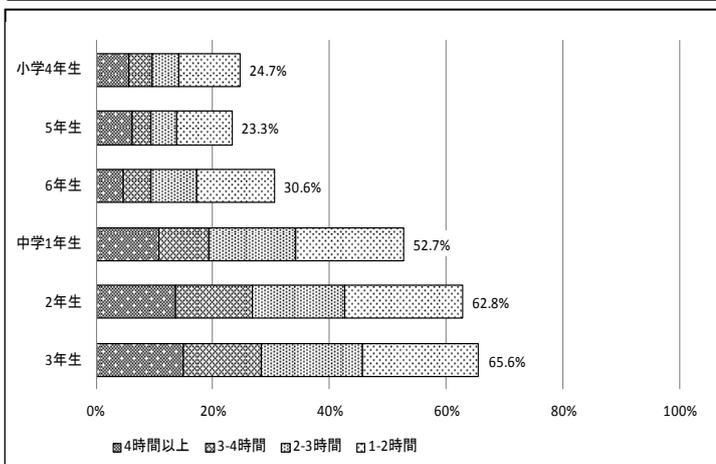
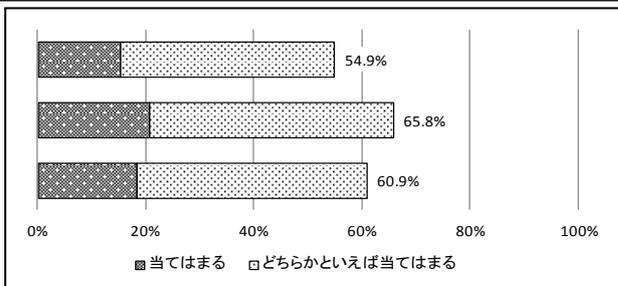
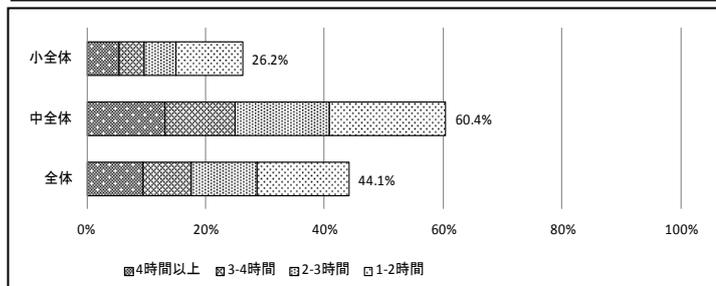
図6 心がけている授業方法（小・中学校教員）

(5) **7**【家庭等の時間の使い方状況(児童・生徒)】、 **9**【家庭学習について(児童・生徒)】、
5【家庭等での取組みの指導(教員)】

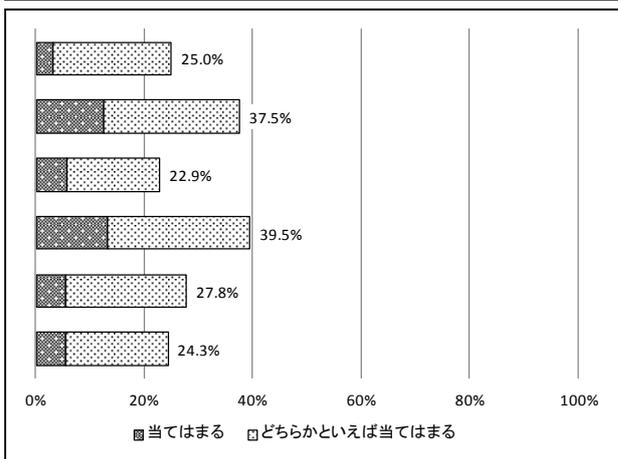
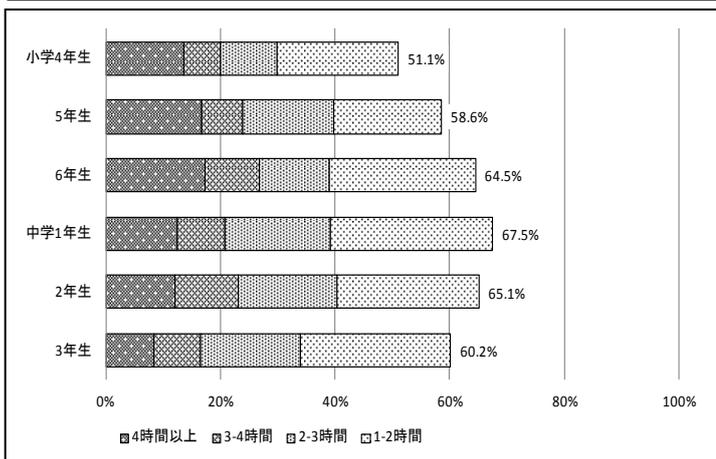
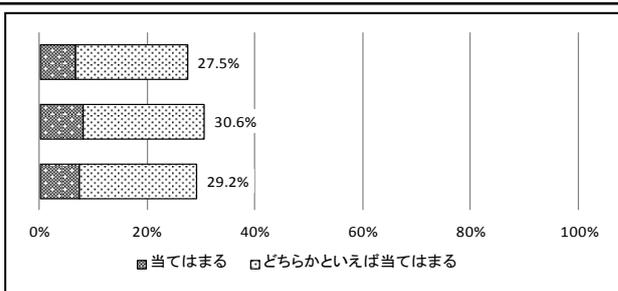
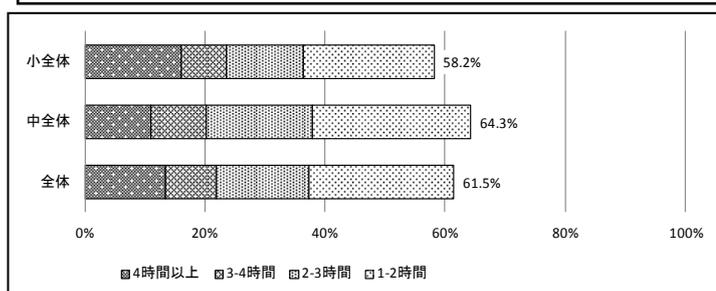
7 次のことについて、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間行っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。【普段の家庭生活の時間の使い方状況】

5 児童・生徒の家での生活・学習について、あてはまるものを1つずつ選んでください。【学校外の取組みの指導】

問 44 & 問 33 携帯電話やスマートフォン、パソコンで通話やメール、インターネットをする時間と、それについての指導状況。 C44【携帯等の利用時間】& T33【携帯等の指導】

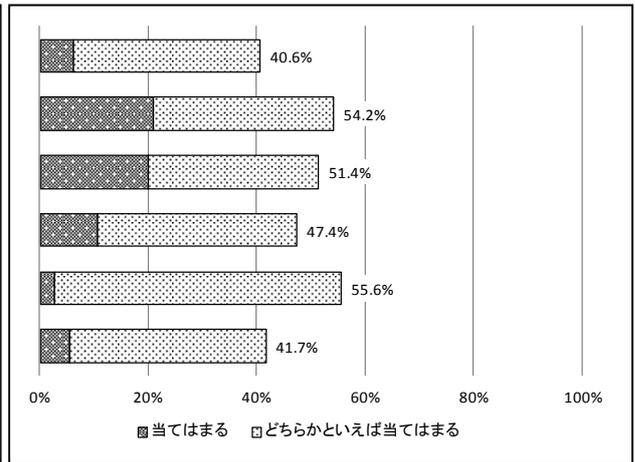
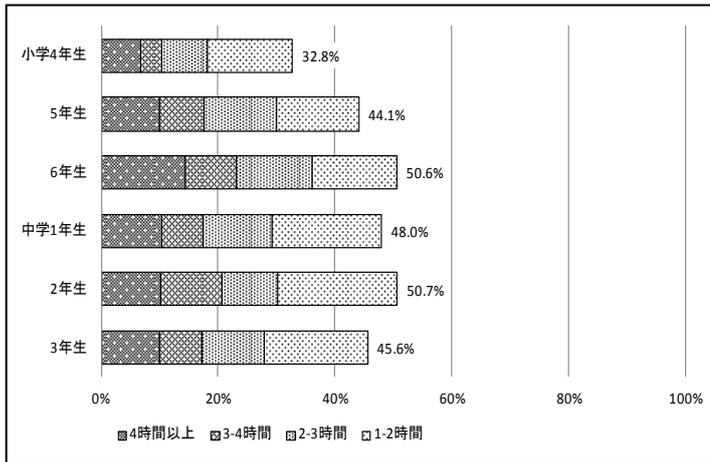
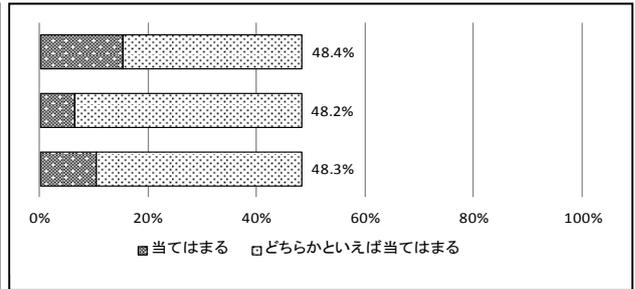
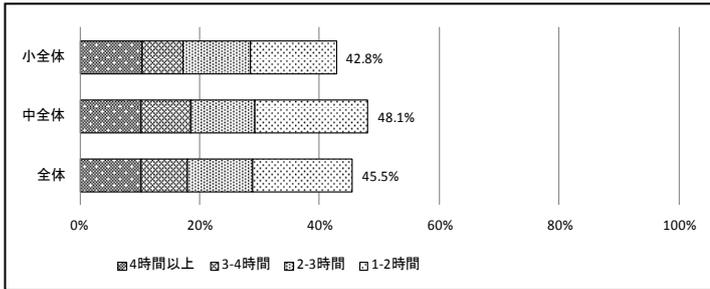


問 45 & 問 34 テレビやビデオ・DVD を見たり、聞いたりする時間と、それについての指導状況。
 C45【TV等の視聴時間】& T34【TV等の視聴の指導】



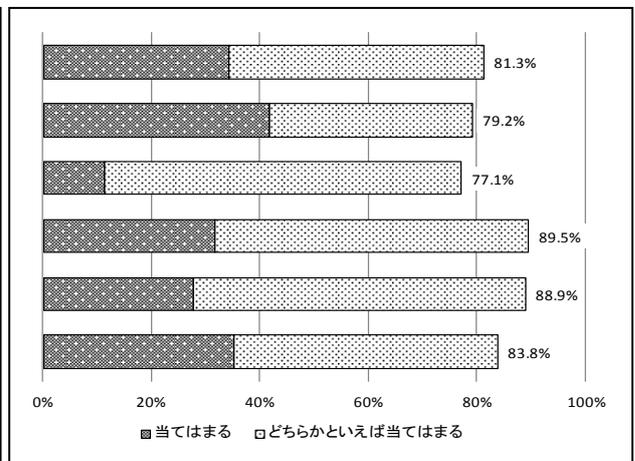
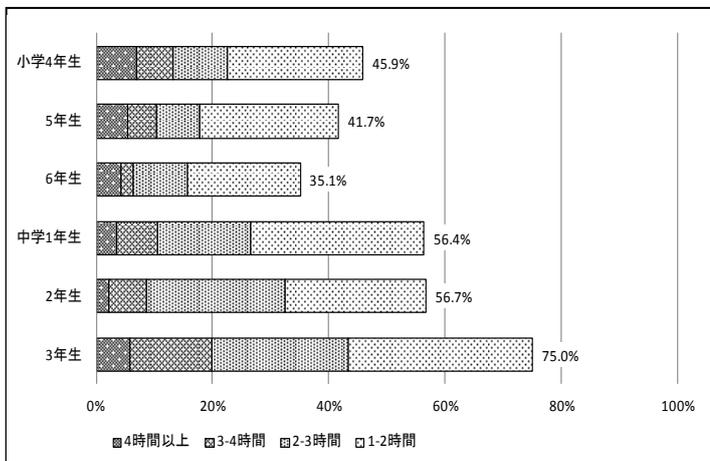
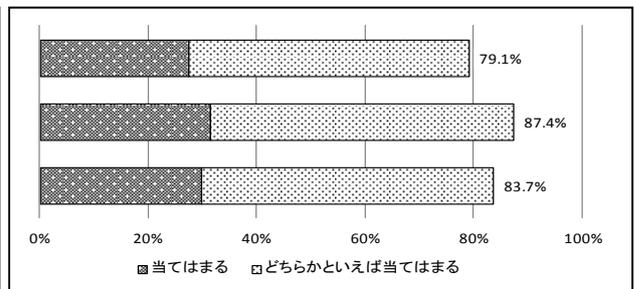
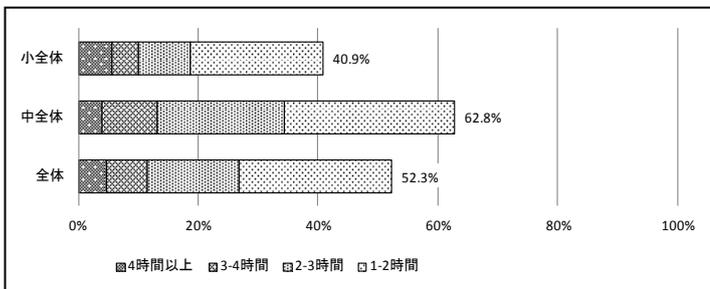
問 46&問 35 テレビゲームをする時間と、それについての指導状況。

C46【TVゲームの従事時間】&T35【TVゲームの利用の指導】

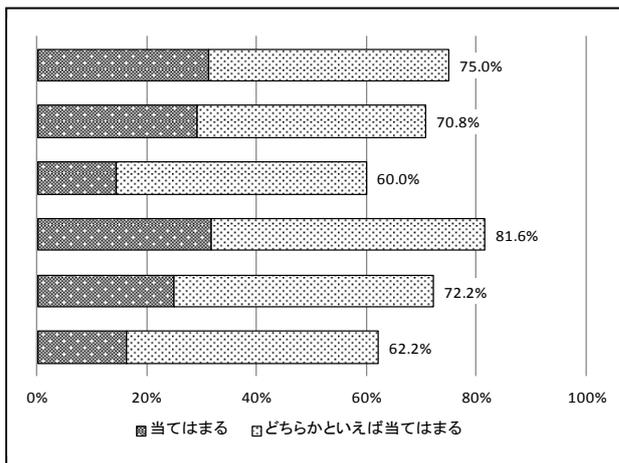
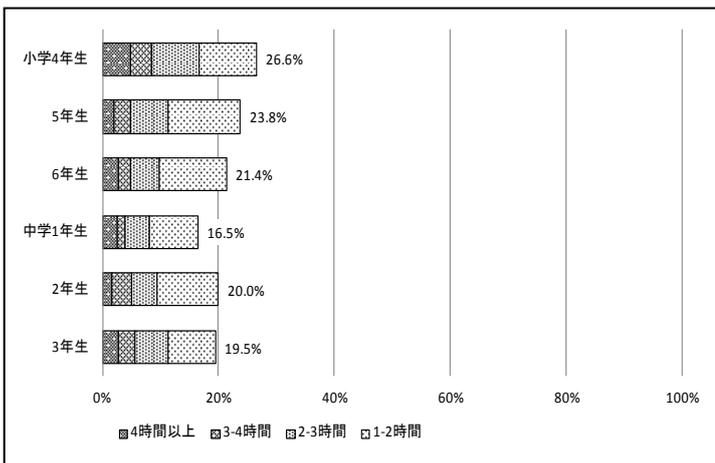
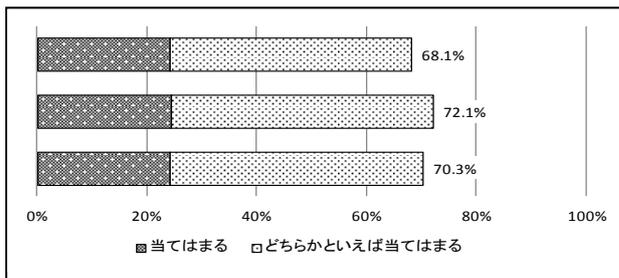
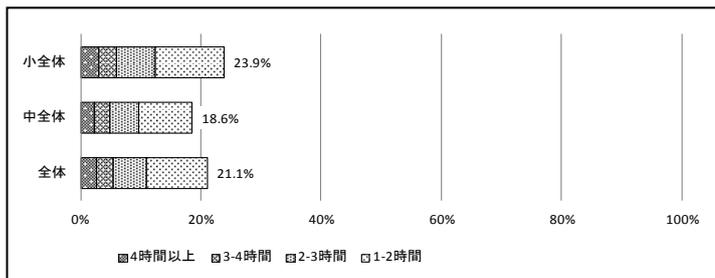


問 47&問 36 勉強をする時間と、それについての指導状況。

C47【学校外での学習時間】&T36【家庭学習の指導】



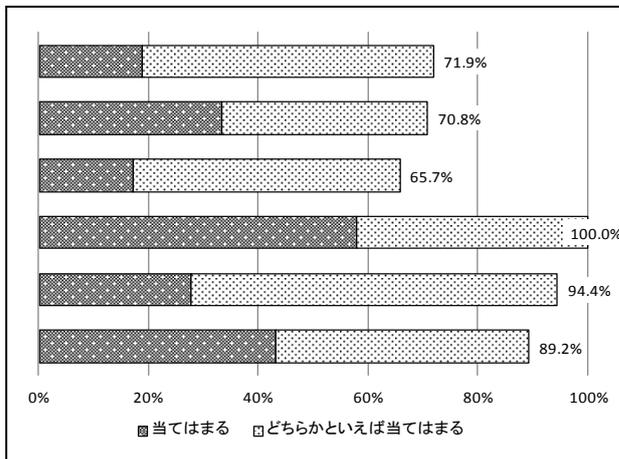
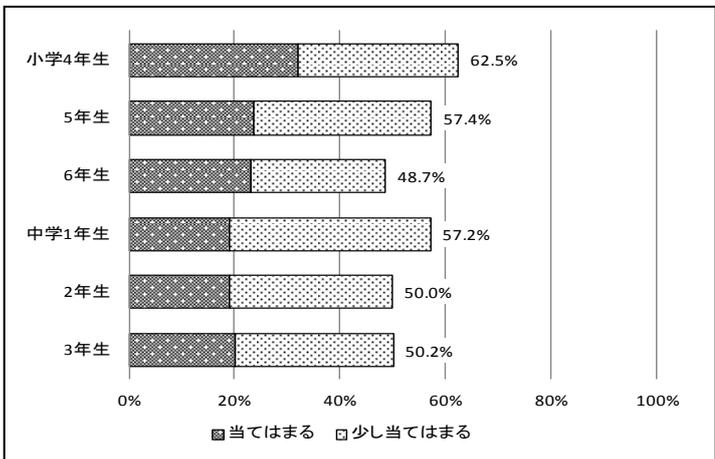
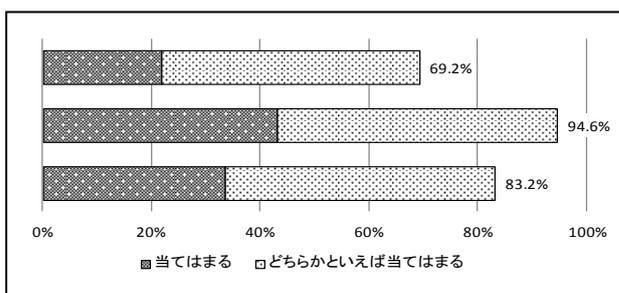
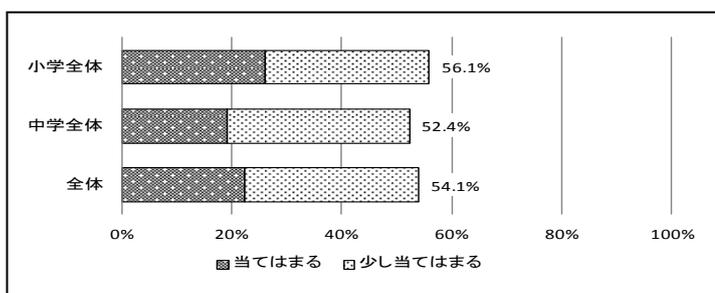
問 48&問 37 読書をする時間と、それについての指導状況。
C48【学校外での読書時間】&T37【読書についての指導】



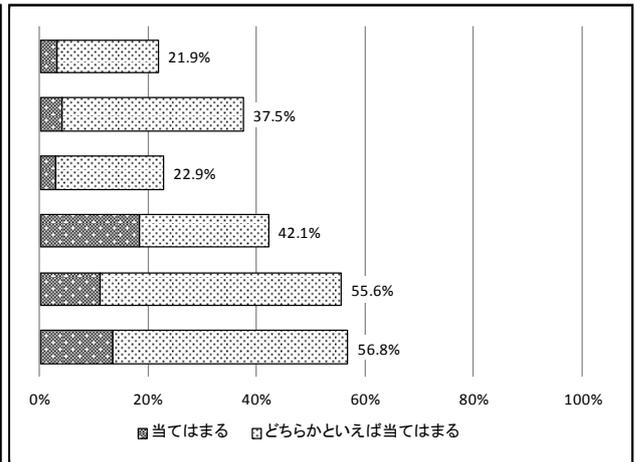
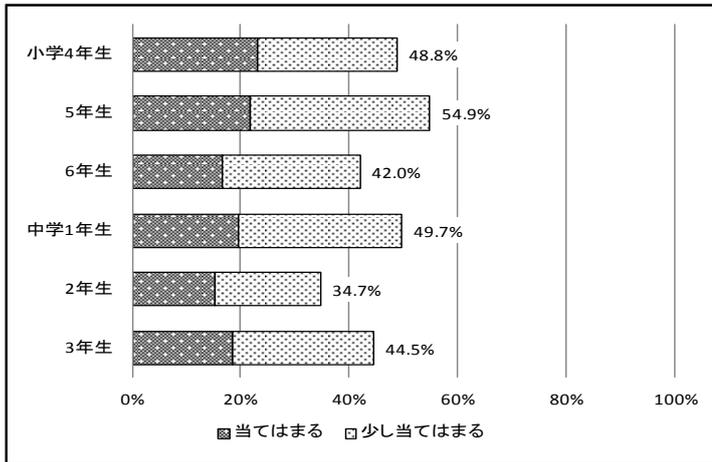
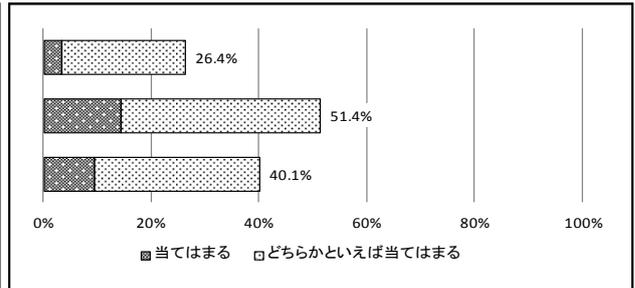
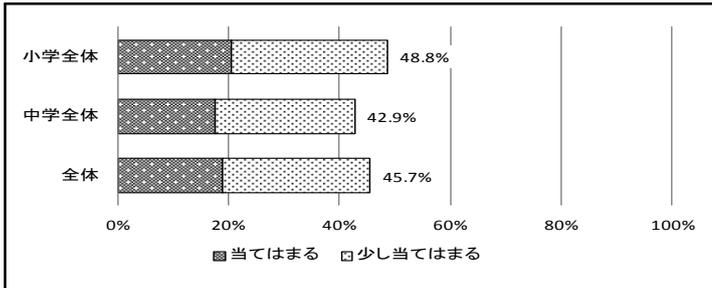
9 家での勉強について、当てはまるものを1つずつ選んでください。【家庭での学習について】

5 児童・生徒の家での生活・学習について、あてはまるものを1つずつ選んでください。【学校外の取り組みの指導】

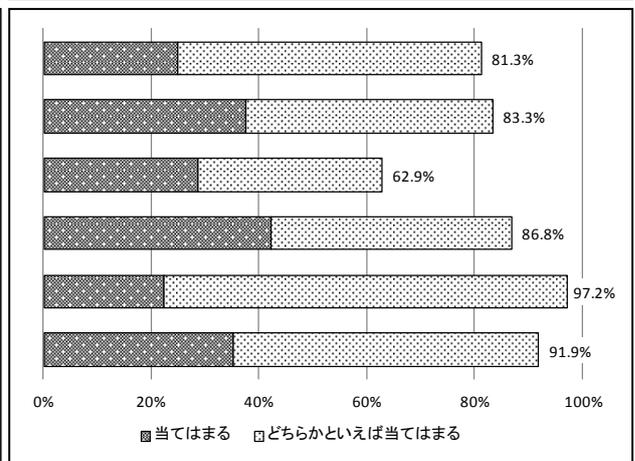
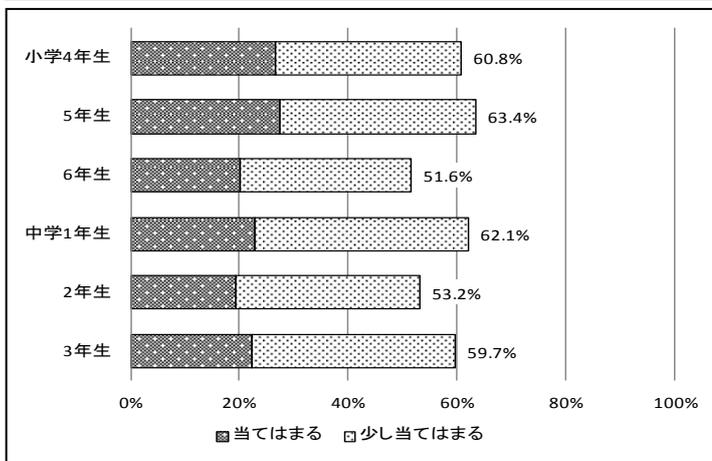
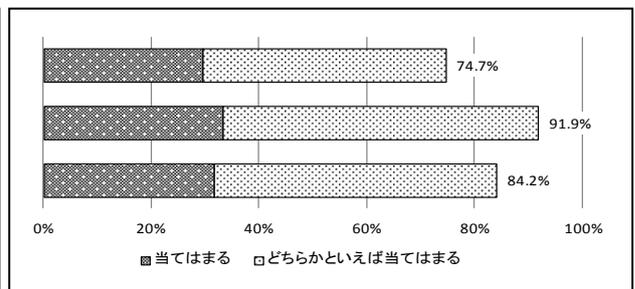
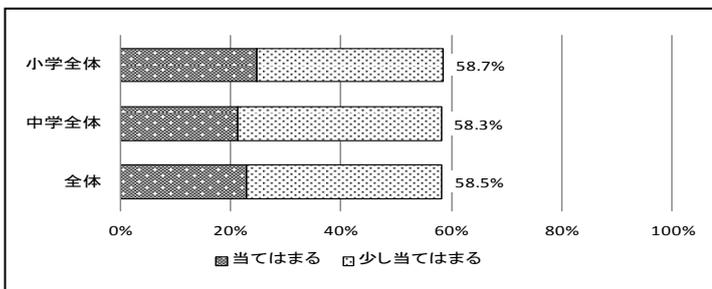
問 53&問 38 自分で計画を立てて勉強している。勉強するように指導している。
C53【計画的な家庭学習の実施】&T38【計画的な学習についての指導】



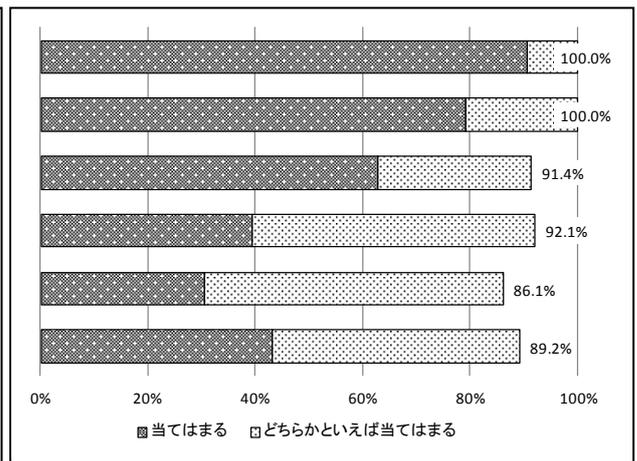
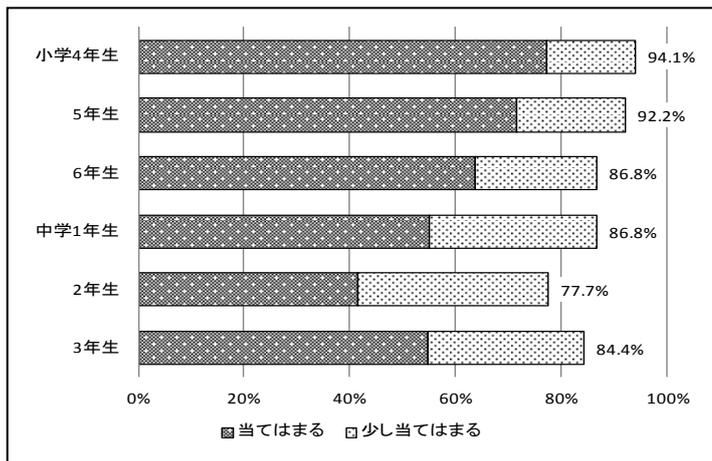
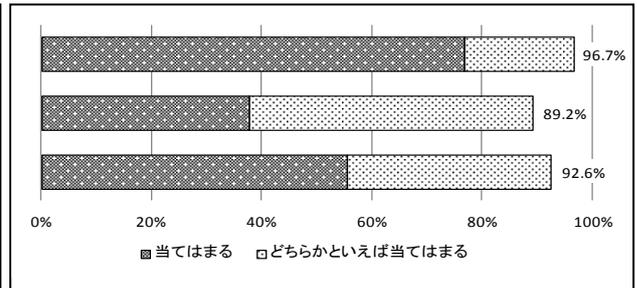
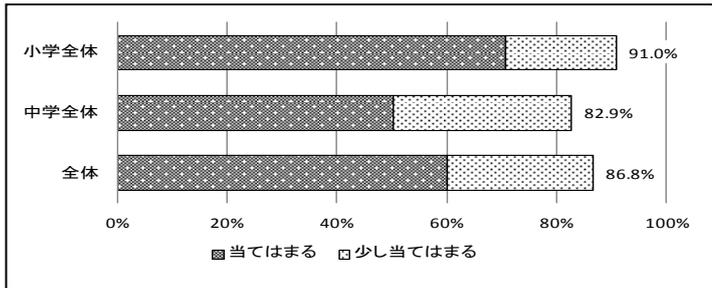
問 54&問 39 学校の授業の予習をしている。予習をするように指導している。
C54【授業の予習の実施】&T39【授業の予習についての指導】



問 55&問 40 学校の授業の復習をしている。復習をするように指導している。
C55【授業の復習の実施】&T40【授業の復習についての指導】



問 56 & 問 41 学校で出された宿題(課題)を必ずしている。宿題(課題)を必ずするように指導している。
C56【宿題の実施】&T41【宿題についての指導】



児童・生徒の7【家庭等の時間の使い方状況】 9【家庭学習について】と教員の5【家庭等での取組みの指導】

- ・【携帯等の利用時間とその指導（スマートフォン、パソコンで通話やメール、インターネット）】（C44 携帯等〔児童・生徒の問 44〕・T33 指導〔教員の問 33〕）について、小学5年時及び中学1年時を中心に学校では継続的に教員が指導していると考えられるが、中学1年生から右肩上がりに利用時間が増えている。
- ・【TV等の視聴時間とその指導】（C45 TV等・T34 指導）について、1時間以上TV等を視聴している子どもは全体で61.5%であるが、指導を実施していると回答している教員の割合は全体で29.2%と少ない。
- ・【TVゲームの従事時間とその指導】（C46 TVゲーム・T35 指導）について、学校では継続的に教員が指導していると考えられるが、1時間以上TVゲームをしている子どもは学年が上がってもほとんど変わらず全体で45.5%となっている。
- ・【学校外での学習時間とその指導】（C47 学習・T36 指導）について、学校では継続的に教員が指導していると考えられるが、1時間以上家庭学習をしている子どもは小学校では学年が上がるとともに減少し、全体でも40.9%である。中学1・2年で50%を超え中学3年では、75.0%となっている。
- ・【学校外での読書時間とその指導】（C48 読書・T37 指導）について、教員の読書についての指導は全体で70.3%と学校では継続的に教員が指導していると考えられるが、子どもの読書時間は、ほとんど変わっていない。

児童・生徒の【7】【家庭等の時間の使い方状況】 【9】【家庭学習について】と教員の【5】【家庭等での取組みの指導】

- ・【計画的な家庭学習の実施とその指導】(C53 学習計画〔児童・生徒の間 53〕・T38 指導〔教員の間 38〕)について、中学校のほとんどの教員が指導していると考えられるが、子どもの実施している割合は、約半数で学年が上がってもほとんど変わらない。小学校段階から積極的に指導していくことが大切かと思われる。
- ・【授業の予習とその指導】(C54 予習・T39 指導)について、小学校の教員は26.4%、中学校の教員は51.4%で小学校より中学校で予習について指導されているが、小学生も中学生も予習している割合はほとんど変化がない。
- ・【授業の復習の実施とその指導】(C55 復習・T40 指導)について、小学校の教員は74.7%、中学校の教員は91.9%で小学校より中学校で復習について指導されているが、小学生も中学生も復習している割合はほとんど変化がない。
- ・【宿題の実施とその指導】(C56 宿題・T41 指導)について、小学校の教員は96.7%、中学校の教員は89.2%で小・中学校のほとんどの教員が宿題について指導していて、子どもの実施している割合も中学生がやや低いものの全体的に高い。

コラム

小学6年生と中学1・2年生を担当する教員の4割が「ほぼ毎日」自学ノートを出している。

ベネッセ教育総合研究所が行った第6回学習指導基本調査(小学校・中学校版)[2016年]で、自学ノートを宿題として出している教員の割合は、小学校で担任をしている学年が上がるほど増加し、6年生では43.8%が「ほぼ毎日」出している。中学校でも同様に中学1・2年生の担任教員の約4割が「ほぼ毎日」出していると報告している。

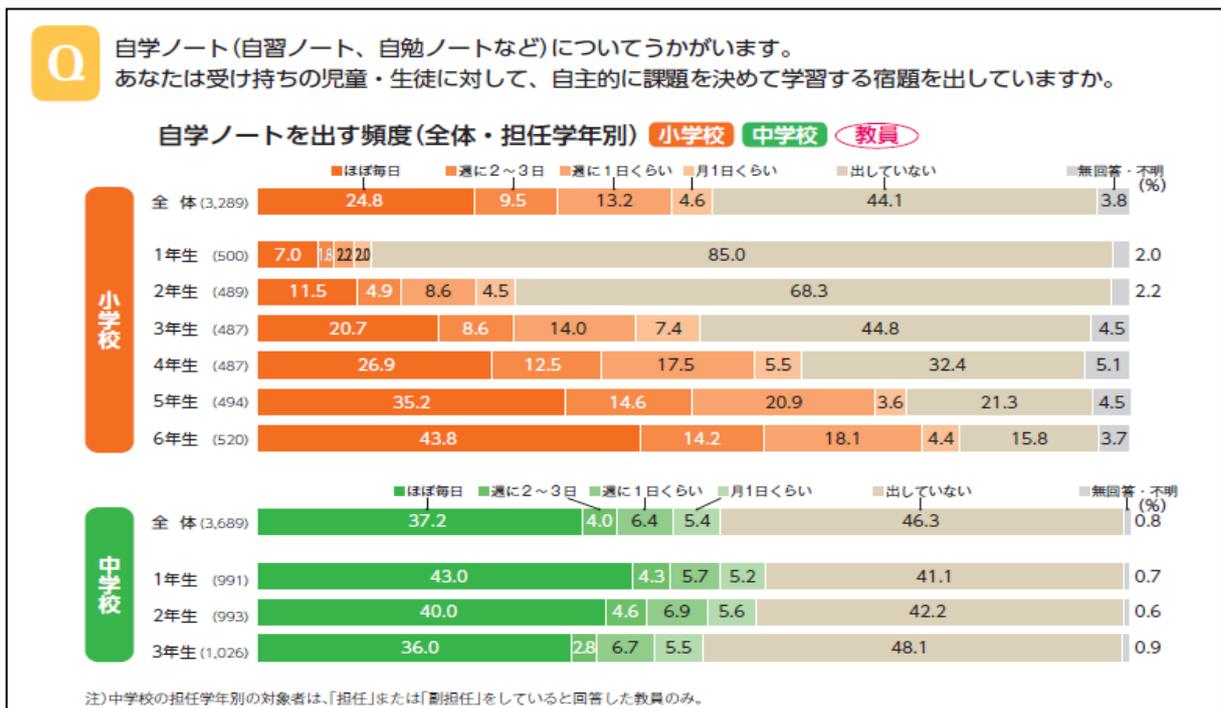


図7 自学ノートを出す頻度(小・中学校教員)